

令和 7 年度
事業報告書



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会

目 次

令和7年度 事業報告書

□うきは市社会福祉協議会組織図	1
□うきは市社会福祉協議会組織構成、役員名簿、評議員選任・解任委員会委員名簿	2
評議員選出区分一覧、第三者委員名簿、常設委員会委員長名簿	3
□うきは市社会福祉協議会運営理念、基本目標、令和7年度事業報告概要	4
Ⅰ 総務・企画部門	
《総務係》	5
1. 法人運営	5
2. 各部門の総合調整、活動支援	8
3. 福祉給食	8
4. 管理・経営（指定管理）	9
5. 福祉用具の無料貸出	9
6. 公益事業（葬祭事業）	10
7. 豪雨・地震等災害支援	11
《企画調整係》	11
1. 調査・企画・広報事業	11
2. 地域公益活動についての研究・実施	12
3. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働	12
Ⅱ 地域福祉部門	
《地域係》	14
1. 委員会研究事業	14
2. 連絡調整事業	14
3. 介護予防・生活支援体制整備事業	14
4. ふれあいのまちづくり推進事業	16
5. 共同募金配分金事業	21
6. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業	26
7. 生活困窮者等のための地域づくり事業	29
8. たすけあい献血推進事業	31
9. 移送サービス支援事業	31
《相談支援係》	32
1. 生活困窮者自立支援事業	32
2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	34
3. 成年後見事業	35
4. うきは市障害者相談支援センター	35
5. 不登校・引きこもり対策相談支援事業	38
6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業	39
7. 高齢者等住まい・生活支援事業	40
8. 資金貸付事業	41
Ⅲ 在宅福祉部門	
1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）	42
2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）	43
3. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）	44
4. 制度補足サービス	46
5. 連携・協働事業	46

IV その他	
1. 実習・見学受入状況等	46
2. 講演、事例報告への職員派遣	47

V 令和7年度 寄付者名簿	
1. 香典返し寄付	47
2. 一般寄付	50
3. 物品寄付	50

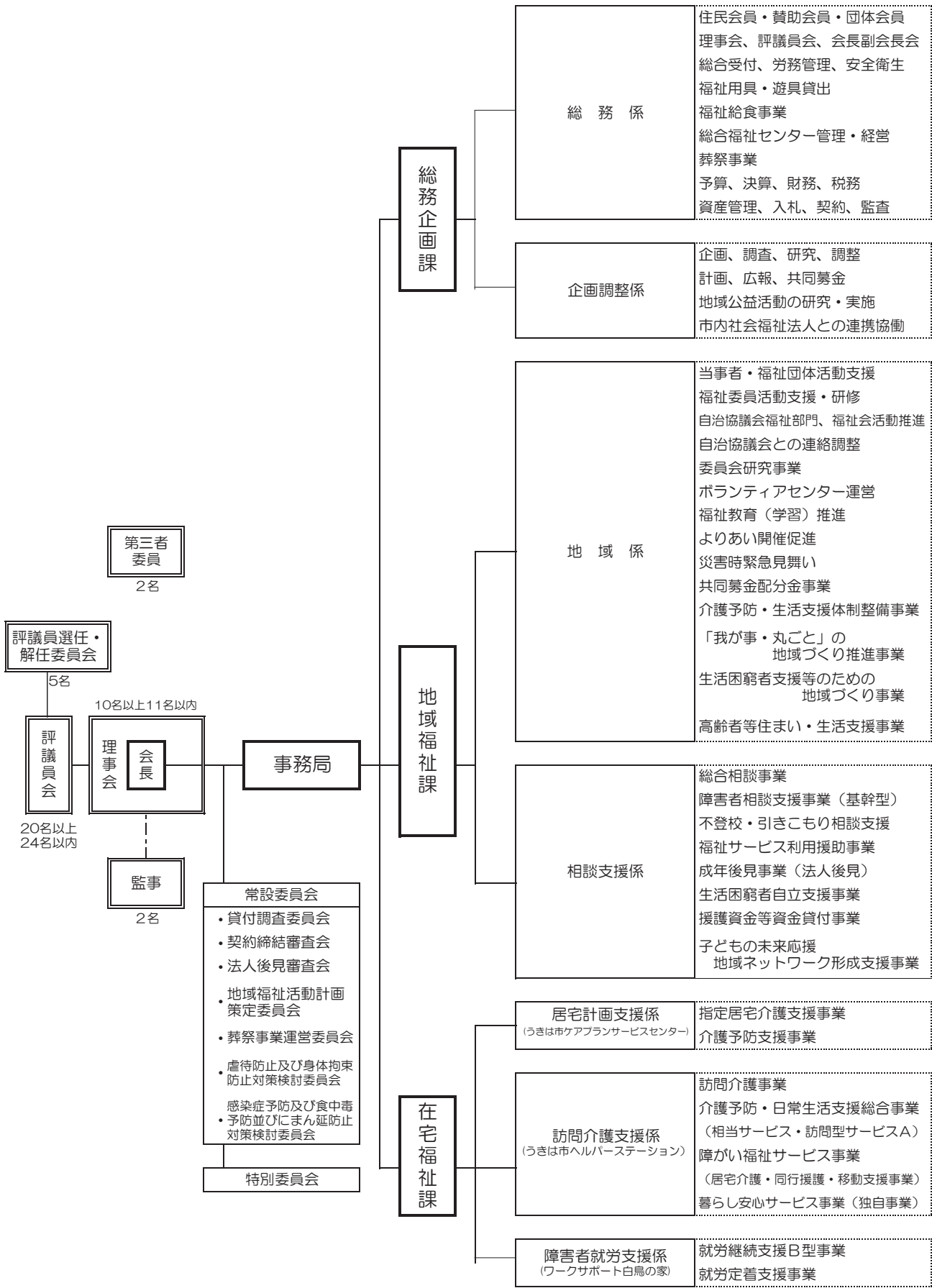
□ 令和7年度事業報告付属明細書	51
------------------	----

令和7年度 決算報告書

1. 決算総括表	55
（1）資金収支決算総括表	57
2. 計算書類	59
（1）法人単位資金収支計算書	61
（2）資金収支内訳表	62
（3）法人単位事業活動計算書	63
（4）事業活動内訳表	64
（5）法人単位貸借対照表	65
（6）貸借対照表内訳表	67
（7）計算書類に対する注記	69
（8）社会福祉事業事業区分資金収支内訳表	73
（9）社会福祉事業事業区分事業活動内訳表	74
（10）社会福祉事業事業区分貸借対照表内訳表	75
（11）公益事業事業区分資金収支内訳表	77
（12）公益事業事業区分事業活動内訳表	78
（13）公益事業事業区分貸借対照表内訳表	79
（14）地域福祉拠点区分資金収支計算書	80
（15）介護保険事業拠点区分資金収支計算書	84
（16）障害福祉サービス事業拠点区分資金収支計算書	86
（17）障害者就労支援拠点区分資金収支計算書	87
（18）地域支援拠点区分資金収支計算書	89
（19）指定管理拠点区分資金収支計算書	90
（20）葬祭事業拠点区分資金収支計算書	91
3. 財産目録	93
4. 監査報告書	97

うきは市社会福祉協議会組織図

令和8年3月31日



うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	20名以上24名以内
執行機関	理事会	10名以上11名以内
監査機関	監事	2名
常設委員会	評議員選任・解任委員会	5名
	地域福祉活動計画策定委員会	21名
	契約締結審査会	7名
	法人後見審査会	5名
	貸付調査委員会	9名
	葬祭事業運営委員会	10名

役員名簿 (令和8年3月31日現在)

(敬称略)

役 職	氏 名 (選出区分)	
理 事 (会 長)	高 山 敏 枝	(識見を有する者)
〃 (副会長)	河 北 和 彦	(識見を有する者)
〃 (副会長)	大 熊 孝 則	(識見を有する者)
〃	東 多喜子	(識見を有する者)
〃	藤 谷 隆	(識見を有する者)
〃	石 井 準一郎	(自治協議会)
〃	川 原 文 次	(自治協議会)
〃	國 武 雅 子	(民生委員児童委員協議会)
〃	足 立 光 二	(保健・医療関係者)
〃	西 見 峰 子	(社会福祉法人の役職員)
〃	日 野 隆 美	(ボランティア連絡協議会)
監 事	高 木 新一郎	(社会福祉事業に識見を有する者)
〃	江 崎 茂 治	(財務管理に識見を有する者)

評議員選任・解任委員会 委員名簿 (令和8年3月31日現在) (敬称略)

構 成	氏 名
外部委員	中 嶋 順 子
外部委員	末 金 良 幸
外部委員	物 部 義 則
監 事	高 木 新一郎
事務局員	天 野 宏 一

評議員選出区分一覧（令和８年３月３１日現在）

区 分	区分の内訳	定 数	現 数
住民組織	自治協議会	４名以内	４名
当事者の団体及び 組織	老人クラブ	１名	１名
	障がい者福祉協会	１名	１名
	精神障がい者家族会	１名	１名
	母子寡婦福祉会	１名	１名
	子育て・育児団体	１名	１名
	在宅介護者の会	１名	１名
社会福祉に関する活動 を行う団体及び組織	福祉委員	２名以内	２名
	ボランティア連絡協議会	１名	１名
	農業協同組合	１名	１名
	人権擁護委員会	１名	１名
民生委員・児童委員 またはその組織	民生委員児童委員協議会	１名	１名
社会福祉事業者関係	社会福祉施設（社会福祉法人）	１名	１名
	介護サービス事業連絡会	１名	１名
保健・医療・教育等の 関係機関・団体	小中学校長会	１名	１名
	P T A連絡協議会	１名	１名
	保健・医療関係機関・団体	２名以内	２名
地域福祉推進に必要な地 域の主要な諸団体	商工会	１名	１名
	青年会議所	１名	１名
計		２０名以上 ２４名以内	２４名

第三者委員名簿（令和８年３月３１日現在）（敬称略）

選 出 区 分	氏 名
学識経験者	楠 原 利 春
学識経験者	高 橋 和 子

常設委員会委員長名簿（令和８年３月３１日現在）（敬称略）

委 員 会 名	委員長名
地域福祉活動計画策定委員会	大 熊 孝 則
契約締結審査会	國 武 雅 子
法人後見審査会	富 永 真 博
貸付調査委員会	江 藤 武 夫
葬祭事業運営委員会	石 井 忠 孝

うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等で対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

令和7年度 事業報告概要

法人全体に於いては、クラウドを導入しコスト削減と業務の効率化を図りました。

地域福祉部門に於いては、コロナ禍を経て変化した地域課題や新たな制度・施策の動向を踏まえながら地域支援、個別支援を行いました。

生活困窮者支援等のための地域づくり事業に於いては、フードパントリーを実施し、物価高騰等で生活にお困りの世帯に対しての支援をし、特にお困りの世帯には、フードバンク支援をはじめとする各種困窮者支援等につながりました。また、フードバンク事業への使途指定寄付を募集したところ25万円の寄付をいただき、物品寄付では集めることが難しい、乳幼児用品や長期保存が可能な食料品に活用でき、より多くの方への継続的な支援につながりました。

一方で、様々な支援策は、本人が困ったというSOSを出すことが出来なければ届きづらいという面もあり、コロナ禍では停滞していた、地域での見守り活動やよりあい活動、福祉小座談会の活動等について重点的に支援を進め、お互いが気かけあう、支え合える地域の体制づくりを進めました。

介護予防・生活支援体制整備事業に於いては、令和7年度より千年地区に第2層地域支え合い推進員が配置され、コミュニティセンターを活用した居場所づくりにつながりました。

介護保険及び障害福祉サービス事業に於いては、前年度対比増収および計画目標を達成し、堅調なサービス提供が実施できました。

ワークサポート白鳥の家（障害者就労支援事業）に於いては、就労継続支援B型事業所の利用希望者の受け入れ定員を増やし、その分の生産活動を充実するために、施設外就労の開拓と積極的な生産活動の見直しを行い、利用者の平均工賃が低下しないよう努めました。

葬祭事業に於いては、アンケートの意見や葬祭事業運営委員会の提言に基づき、故人の想いと遺族に寄り添う福祉葬儀の充実を図ると共に、市民の皆様がこれからの人生をより豊かに有意義に過ごすための場として終活セミナーを開催しました。葬儀や相続だけの内容ではなく、幸せの生前整理として身近な課題として好評を博す内容でした。今後も終活セミナーや施設整備を計画的に行い、利用者に優しい運営に努めていきます。

最後に、災害に関する取組として、国土交通省（九州地方整備局）とうきは市が進める、防災道の駅の整備事業に参画し、新たに建設された道の駅防災倉庫に、災害ボランティア用活動資材ストックヤードを加えていただき、災害時に貸出や活用のできる資材を整備し有事の備えとしました。

I 総務企画部門

《総務係》

1. 法人運営

(1) 住民主体による経営と実践

①理事会【全6回】次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

回 数	期日	出席 理事 / 監事	議 案
第 177 回	R7.5.30	9/2	・令和 6 年度事業報告及び決算報告の承認について ・理事選任候補者の選出について ・監事選任候補者の選出について ・評議員選任候補者の推薦について ・評議員選任・解任委員の選任について ・評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員会の開催について ・令和 7 年度資金運用計画について
第 178 回	R7.6.23	11/2	・社会福祉法人うきは市社会福祉協議会会長の選定について ・社会福祉法人うきは市社会福祉協議会副会長の選定について ・顧問の委嘱について ・嘱託職員賃金支給規定改正（案）について
第 179 回	R7.7.25	10/2	・諸規程等の改正について ・令和 7 年度金婚祝福の会について
第 180 回	R7.9.10	9/2	・諸規程等の改正について ・令和 7 年度共同募金運動について
第 181 回	R7.12.12	10/2	・歳末たすけあい事業について ・職員給与及び退職手当に関する規程改正（案）について
第 182 回	R8.3.18	9/2	・諸規程の改正について ・令和 7 年度第 1 次補正予算（案）について ・令和 8 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について ・次期事務局長の選任について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

②評議員会【全2回】次の日程・内容にて、評議員会を開催しました。

回 数	期日	出席者 出席 / 総数	議 案
第 66 回	R7.6.23	19/24	・令和 6 年度事業報告及び決算報告の承認について ・理事の選任について ・監事の選任について
第 67 回	R8.3.27	18/24	・令和 7 年度第 1 次補正予算（案）について ・令和 8 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

③監査【全5回】次の日程・内容にて監査を実施しました。

回 数	期日	出席者 出席 / 総数	監 査 事 項
第 1 回	R7.5.22	2/2	・令和 6 年度決算監査
第 2 回	R7.7.31	2/2	・令和 7 年度第 1 期監査（4～6 月）
第 3 回	R7.10.22	2/2	・令和 7 年度第 2 期監査（7～9 月）
第 4 回	R8.1.21	2/2	・令和 7 年度第 3 期監査（10～12 月）
第 5 回	R8.3.19	2/2	・令和 7 年度第 4 期監査（1～2 月）

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

④会長・副会長会【全5回】次の日程・内容にて、会長・副会長会を開催しました。

回 数	期 日	出席者 出席 / 総数	主 な 議 題
第 1 回	R7.5.23	3/3	・令和 6 年度事業報告及び決算報告の承認について ・理事・監事・評議員選任候補者の選出及び推薦について ・評議員選任・解任委員の選任について ・令和 7 年度資金運用計画について ・理事会提案・報告事項について
第 2 回	R7.7.23	3/3	・諸規定等の改正について ・令和 7 年度金婚祝福の会について ・理事会提案・報告事項について
第 3 回	R7.9.5	3/3	・諸規定等の改正について ・令和 7 年度共同募金運動について ・理事会提案事項について
第 4 回	R7.12.5	3/3	・令和 7 年度共同募金運動について ・歳末たすけあい事業について ・職員給与及び退職手当に関する規程改正（案）について ・理事会提案事項について
第 5 回	R8.3.11	3/3	・諸規程の改正について ・令和 7 年度第 1 次補正予算（案）について ・令和 8 年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について ・次期事務局長の人事及び職員体制について ・理事会提案・報告事項について ・令和 8 年度区長業務説明会について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

⑤評議員選任・解任委員会【全1回】次の日程・内容にて評議員選任・解任委員会を開催しました。

回 数	期 日	出席者 出席 / 総数	内 容
第 1 回	R7.6.6	5/5	・任期満了に伴う次期評議員の選任について

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

⑥新任役員・評議員の研修の実施

期 日	参加人数	内 容
R7.6.27	14 名	・事務局説明（社協の組織、運営、各課の業務内容） ・各事業所の見学

〔会場：うきは市総合福祉センター〕

（２）法人の健全経営

①社会福祉法その他関係法令、内部諸規程に則った適切な経営

- ・社会福祉法及び関係法令・通知の改正に伴う諸規程の改正

②顧問税理士の助言及び社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務

- ・消費税及び法人税納付関連事務

③顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理

- ・働き方改革に沿った労務管理改善の実施

④職員安全衛生推進委員会による働きやすい職場環境づくり

- ・安全衛生推進委員会の開催（8 月、3 月）
- ・「こころと体の相談」の実施（奇数月）※面談にて実施。
- ・健康診断要再検診者への受診指導

⑤監事による定期監査

- ・事業計画に基づく経営状況の確認
- ・職員時間外労働、有給休暇取得の確認

⑥第三者委員による苦情相談会開催（奇数月）

(3) 財政基盤の強化

①社協会員の拡大…地域や関係団体への説明の機会を設け、会員加入促進を図りました。

ア. 住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹 川	115/143	80.4%	57,500 円	87 口	43,500 円	101,000 円
新 川	73/102	71.6%	36,500 円	41 口	20,500 円	57,000 円
田 籠	39/50	78.0%	19,500 円	33 口	16,500 円	36,000 円
小 塩	144/202	71.3%	72,000 円	49 口	24,500 円	96,500 円
山 春	621/848	73.2%	310,500 円	458 口	229,000 円	539,500 円
大 石	560/921	60.8%	280,000 円	351 口	175,500 円	455,500 円
御 幸	1,469/2,301	63.8%	730,700 円	620 口	310,000 円	1,041,200 円
千 年	707/1,595	44.3%	335,500 円	135 口	67,500 円	403,000 円
吉 井	1,106/1,738	63.6%	553,000 円	97 口	48,500 円	601,500 円
福 富	927/1,389	66.7%	469,810 円	122 口	60,700 円	530,510 円
江 南	708/1,055	67.1%	346,600 円	45 口	22,500 円	369,100 円
市 外				24 口	12,500 円	12,500 円
合 計	6,469/10,344	62.5%	3,211,610 円	2,062 口	1,031,200 円	4,242,810 円

※住民会費は一世帯 500 円、賛助会費は 1 口 500 円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

※総世帯数は、区長文書配布数となっています。

イ. 団体会員（1団体 年会費 5,000 円）

社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）
 社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）
 社会福祉法人図南会（えびね荘）
 社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）
 社会福祉法人ふたば会（水月吉井、養護老人ホームうきは）
 社会福祉法人幸輪福祉会（エバーガーデンうきは）
 社会福祉法人幸輪会（うきは幸輪保育園、わかば幸輪保育園）
 特定非営利活動法人みつば会（浮羽共同作業所）
 絆データシステム株式会社
 合計 9 団体 45,000 円

(4) 職員育成と職員体制の充実

①研修計画に基づいた職員育成研修の実施

- ・職員全体研修（令和 7 年 4 月 21 日）
 内 容：「令和 7 年度の各部門の重点事項を知ろう」
 参加者：51 名
- ・両筑地区社会福祉協議会連絡会 職員全体研修（令和 8 年 2 月 14 日）
 内 容：・「社会福祉協議会基本要綱 2025」
 参加者：22 名
- ・人権研修 ※各部署ごとに実施
 内 容：DVD 視聴
 「今、地域社会と職場の人権は！」 参加者：13 名
 「コールアンドレスポンス ハラスメント」 参加者：17 名
 「風の匂い」 参加者：9 名
 「認知症と向き合う」 参加者：12 名
- ・食中毒予防研修 参加者：19 名
- ・感染症対策研修 参加者：16 名

- ・身体拘束防止研修 参加者：18 名
- ・虐待防止研修 参加者：30 名
- ・苦情解決従事者研修 参加者：10 名
- ②人材確保を目的とする職員処遇改善
 - ・職員給与及び退職手当に関する規程改正
- ③職員の福祉資格取得促進
 - ・資格取得及び更新研修費用の助成
- ④専門職員配置の充実
 - ・令和 7 年度有資格者嘱託職員の採用 4 名

2. 各部門の総合調整、活動支援

(1) 管理職会議（月 1 回）

毎月 1 回定例にて会長以下、事務局長、課長、課長補佐、係長、管理者を招集し開催。管理職会議において事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議しました。

3. 福祉給食

(1) 「食」の自立支援事業（市受託事業）

利用者の年間延べ人数は、963 人（前年度比 -45 名）、延べ配食数は 28,289 食（前年度比 -228 食）となり、当初の配食計画数（44,000 食）を、大幅に下回りました。配食数減少の要因として、新規利用者 22 名（前年度比 -20 名）と大きく減少した上、死亡や入所・入院は変わらず、退院後在宅復帰されない方も多くなりました。また、事業の目的に添って、食の確保に加え、安否確認を必要とする一人暮らし高齢者等で、買い物に行くことができない方に対象者を制限し、事業を進めたことにあります。あわせて、民間の宅配サービスの利用増加も背景に見られました。

しかしながら、本事業利用により、栄養面から健康状態が回復されて、買い物に行けるようになった方、調理が出来るようになった方もおられて、在宅生活での自立支援につながっています。

献立については、栄養士が地産地消を基本に季節感を味わって頂く工夫や栄養管理を行いました。

安否確認については、配食時に不在等で安否の確認ができなかった方には、不在連絡用紙を添え、帰宅したら電話を頂くようにし、連絡がない場合は、本人及び親族あるいはケアマネジャーなどの関係者へ連絡を取るなどして、確認の徹底を図っています。今年度は、救急搬送したケースはありませんでしたが、連絡した家族が自宅内で倒れていた本人を発見したケースがありました。このように、安否確認においては、平素より関係機関と連絡相談等を密に行い、食の面から利用者が健康で安心した生活を送れるように努めてきました。

□配食日：月曜日～土曜日（但し、8 / 14・15、12 / 30～1 / 3 を除く）昼食と夕食

□利用者負担：1 食 450 円（但し、生活保護受給者 1 食 350 円）

□活動体制：調理 給食員 3.5 名

献立 栄養士

配食 給食員とボランティア（28 名登録、R 8.3 月末現在）

□配食コース：昼食 4 コース（内、ボランティア 月～土 3 名）

夕食 6 コース（内、ボランティア 月～土 4 名）

【食の自立支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数	76	82	82	82	78	81	85	83	82	81	77	74	963	
実施日数	26	27	25	27	24	26	27	25	25	24	24	26	306	
配食数	昼食	727	793	784	832	758	855	952	842	824	818	779	846	9,810
	夕食	1,564	1,671	1,569	1,623	1,459	1,570	1,699	1,542	1,529	1,470	1,335	1,448	18,479
	合計	2,291	2,464	2,353	2,455	2,217	2,425	2,651	2,384	2,353	2,288	2,114	2,294	28,289

【利用者区分 (R8.3 月末現在)】 ※入院者含む

区 分	一人暮らし高齢者	高齢者夫婦	障がい者	その他	合 計
利用者数	75 名	4 名	2 名	2 名	83 名

【配食時の安否確認件数】

年 度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
安否確認件数	804 件	646 件	874 件	762 件	633 件	572 件
(内緊急対応件数)	7 件	4 件	6 件	4 件	2 件	0 件

※総数にはあったか宅配サービス利用者を含む。

(2) あったか宅配サービス（共同募金配分金事業）

利用者や市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが中止となった方や、申込みをしたが該当しなかった方で、本会が食の確保が必要と認められた方に、健康で自立した生活を送ることができるよう、配食を通して支援しました。

□利用者負担／1食 550 円

【あったか宅配サービス実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	5	5	4	4	3	3	6	6	7	7	8	8	66
配食数	154	158	121	88	72	78	160	174	191	192	202	218	1,808

※実利用者数 9 名

4. 管理・経営（指定管理）

(1) うきは市総合福祉センター

うきは市総合福祉センターが施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。

ZEB 化施設改修工事期間（R7.9.17～R8.3.18）は安全管理に努め、入所団体と関係機関との調整を行いました。

※ ZEB（ゼブ）：快適な室内環境を実現しながら消費するエネルギーをゼロにすることを目指した建物

【うきは市総合福祉センター利用実績】

開館日数		一般用貸出室				その他の 部屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	295 日	248 団体	3,412 人	25 団体	321 人	3,864 人	7,597 人
月平均	24.6 日	20.7 団体	284.3 人	2.1 団体	26.8 人	322.0 人	633.1 人
1 日平均	—	0.8 団体	11.6 人	0.1 団体	1.1 人	13.1 人	25.8 人

5. 福祉用具の無料貸出

(1) 福祉用具無料貸出

①福祉用具無料貸出

在宅生活に介護・介助を要する方を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

【福祉用具の貸出状況】

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	81 件	杖	6 件	介護ベッド	3 件
シャワーチェア	7 件	ポータブルトイレ	10 件	歩行器	7 件
手すり	1 件	浴槽台	1 件	押し車	7 件
松葉杖	2 件	オキシメーター	1 件	合 計	126 件

②老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施

うきは市老人クラブ連合会の協力により、毎月当番を決め福祉用具の点検を実施いただいています。これにより、福祉用具を安心してご利用いただけます。

【老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施状況】

点検実施会場	点検回数	協力延人数
うきは市総合福祉センター	9 回	16 人
うきは市民センター	4 回	10 人
合 計	13 回	26 人

③社会参加促進交流事業

高齢者や障がいのある方々が安心・安全に活用できるように、車椅子等福祉用具の購入及び修理に必要な物品を購入しました。

6. 公益事業（葬祭事業）

誰しも訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をおおらず、荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるようにサービスの充実に努めました。また、広報や終活セミナー等を通して、社協の葬祭事業について市民への周知を図りました。

（1）自宅、集会所、寺院、斎場での葬儀の実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
自宅・寺院葬	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	1	7
斎場葬	本館	11	9	2	2	6	3	6	5	6	7	10	73
	和室	2	0	3	2	1	2	4	3	5	1	3	27
	別館	4	8	6	6	6	4	8	9	9	8	5	81
	小計	17	17	11	10	13	9	18	18	19	15	18	181
直葬	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	3
合 計	17	17	14	10	13	9	21	20	19	15	19	17	191
(内市外者)	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	3
市内死亡者数	36	37	28	30	30	25	34	45	28	47	33	38	411
市内利用率	47.2%	45.9%	50.0%	33.3%	43.3%	36.0%	55.9%	44.4%	64.3%	31.9%	57.6%	44.7%	45.7%

①斎場葬の実施に伴うサービス提供

- ・無料送迎バスの実施・・・55件（利用率 30.4%）
- ・無料朝食提供の実施・・・45件（利用率 24.9%）

（2）葬祭事業運営委員会【全2回】

期 日	会 場	出席者	議 題
R7.7.3	うきは斎場本館おとき室	委員 9 名	・斎場折込チラシについて ・縁デイングノートの活用及び終活セミナーについて
R8.2.2	うきは斎場本館おとき室	委員 8 名	・縁デイングノートの活用及び終活セミナーについて ・令和 8 年度葬祭事業への意見・提言

・委員会の提言事項

- ①故人の想いと遺族に寄り添う福祉葬儀の充実に努め、利用者に優しい葬儀をお願いしたい。
- ②「縁デイングノート」の活用、終活セミナーの開催について、地域での実施を念頭に充分周知を行ったうえで取り組んでいくをお願いしたい。
- ③一層の吉井町域住民への周知と啓発をお願いしたい。
- ④施設の老朽化に伴う施設整備を計画的に適時行うことをお願いしたい。

（3）葬祭事業の周知

- ①広報誌「ふくしのかわら版」へのチラシの折り込み。2回（8月号、12月号）
- ②ホームページ内に福祉葬儀の専用サイトを開設。

（4）終活セミナーの開催

期 日	会 場	参加者	内 容
R7.7.23	うきは市総合福祉センター	28 名	・終活のための公正証書について ～青春より長い老後のために～ ・縁デイングノートの説明及び配布 ・終活写真撮影
R7.11.21	うきは市民センター	41 名	・「人の終活、家の終活」 ・縁デイングノートの説明及び配布 ・終活写真撮影

※衛生管理の実施

斎場内に次亜塩素酸空間除菌脱臭機の設置、対策に努めました。

7. 豪雨・地震等災害支援

令和7年8月9日から大雨にて、県内2ヵ所に災害ボランティアセンターが設置され、福津市社会福祉協議会からの要請により、災害ボランティアセンター運営支援を行うため、職員を派遣しました。

(1) 福津市災害ボランティアセンターへの支援

派遣期間：令和7年8月14日、18日～19日（3日間）

派遣職員：3名

《企画調整係》

1. 調査・企画・広報事業

行政や関係機関より福祉に関する統計情報（データ）を収集し、うきは市の福祉の全体像を把握すると共に、福祉座談会や「ふくしかわら版」等を活用して福祉課題を拾い上げました。

また、広報やホームページなど様々な媒体により地域福祉の情報を発信し、社協の見える化を推進しました。

(1) 「ふくしかわら版」を活用した福祉課題の把握

市民からの声を拾い上げるために、ふくしかわら版（9月号、3月号）に、郵送形式による返信項を設け、3通の返送を頂きました。また、ホームページにもお問い合わせのページを設けていますが、令和7年度についてはお問い合わせはありませんでした。

なお、送付いただいた内容については、事務局での検討や対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員等と連絡を取り、状況確認と支援を行いました。

(2) 年次調査統計要覧の作成

うきは市の人口や世帯の増減、高齢率・年少率等の福祉活動の参考データを算出するために、市福祉事務所福祉係を介して情報政策係に情報提供を依頼し、うきは市の基本データの集積を行うと共に、久留米児童相談所やハローワーク等の関係機関に対しても福祉に係る調査結果等の情報提供いただき、政府機関が公表しているデータと合わせて「年次統計要覧」を作成しました。

(3) 社協だより「ふくしかわら版」の編集発行 年12回（共同募金配分金事業）

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の福祉意識の啓発に関する事などを、うきは市民にお伝えするために、毎月1日に「ふくしかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

(4) ホームページの管理・運営 毎月1日に定例更新（共同募金配分金事業）

社協の見える化を推進するため、スマートフォンやタブレットに対応できるように環境を整えました。定期広報誌については発行に併せて毎月1日更新しました。なお、ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など最新の情報を掲載しました。

(5) Facebook・Xの管理・運営

Facebook・Xを通して、地域福祉の情報提供や啓発活動を行い、社協活動の見える化を推進しました。（フォロワー数／Facebook：1,226、X：815）

(6) 防災無線（行政放送）の活用

社協の相談窓口等をお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

(7) 住民啓発資材（社協名入り花の種、各種パンフレット等）

社協の連絡先や相談窓口の啓発資材として、花の種、ボールペン、クリアファイルなどを作成配布しました。

(8) 福祉座談会の実施

社協活動や終活事業について地域での会合等にて説明を行い、地域福祉の啓発活動を行いました。

（実施回数3回）

期 日	会 場
R7.9.16	新川地区
R7.11.27	御幸地区
R7.12.10	御幸校区老人クラブ

2. 地域公益活動についての研究・実施（地域福祉部門・在宅福祉部門との協働）

活動や在宅福祉事業など、様々な社協の取り組みの中から見えてくる新たなニーズや、既存の制度では解決できない課題を解決するため、福岡県内の社会福祉法人が連携して、支援を必要とする方に対する相談支援活動である「ふくおかライフレスキュー事業」に参加しています。

ふくおかライフレスキュー事業とは、関係機関との連携を図り、相談活動を進めていく中で、支援を必要とする方の心理的不安の軽減を図るとともに、必要な制度やサービスにつなぐものです。また、生活保護等の既存制度では即応できない方で、経済的困窮により生活必需品や社会的サービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用等を現物により支援する事もできます。（令和7年度対応ケースなし）

3. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働

うきは市内の全社会福祉法人（9 法人）による協働で社会貢献活動に取り組みました。

【うきは市社会福祉法人連絡協議会参加法人】

図南会（えびね荘）、ふたば会（水月吉井・養護老人ホームうきは）、浮羽コロニー（希望が丘）、両筑福祉会（浮羽学園）、遊林福祉会（遊林愛児園）、幸輪会（うきは幸輪保育園・わかば幸輪保育園）、幸輪福祉会（エバーガーデンうきは）、ひじり会（ひじり園うきは・にじの家）、うきは市社会福祉協議会

（1）代表者会、社会貢献プロジェクト委員会の実施

【うきは市社会福祉法人連絡協議会代表者会】

期 日	会 場	内 容
R7.6.25	うきは市総合福祉センター	①令和6年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 事業報告 ②令和6年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 決算報告、監査報告 ③令和7年4月～5月活動報告
R7.11.26	うきは市総合福祉センター	①令和7年度4月～11月活動報告 ②社会貢献プロジェクト委員会報告
R8.3.10	うきは市総合福祉センター	①令和7年度うきは市社会福祉法人連絡協議会の活動経過 ②令和8年度うきは市社会福祉法人連絡協議会事業計画・予算（案）

【社会貢献プロジェクト委員会】

期 日	会 場	内 容
R7.4.16	うきは市総合福祉センター	①社会貢献プロジェクト委員の交替について ②社会貢献プロジェクト委員会について ③令和6年度事業報告（案）について（意見交換） ④令和7年度年度事業計画、地域貢献活動の取り組みについて
R7.8.21	うきは市総合福祉センター	①令和7年4月～7月活動報告 ②地域貢献活動について
R7.11.10	うきは市総合福祉センター	①令和7年4月～10月活動報告 ②地域貢献活動について
R8.1.20	うきは市総合福祉センター	①令和7年4月～令和8年2月活動報告 ②地域貢献活動について ③令和8年度の活動について

（2）うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会等の協働実施

うきは市社会福祉法人連絡協議会 研修会

期 日	会 場	参加者	内容
R8.2.12	うきは市民センター 3階 小ホール	49名	「社会福祉法人と施設に求められる地域貢献のあり方について」 ～大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会の取り組み～ 講師：大牟田市社会福祉法人地域公益活動協議会

（3）地域公益活動等の社会貢献活動の取り組み

社会貢献プロジェクト委員会等で検討しながら、地域公益活動等の取組みを以下のとおり行いました。

①相談体制の充実について

社会福祉法人連絡協議会の各法人で相談支援窓口を設置し、各法人連携しながら相談支援体制を強化するもので、各法人の相談担当者、相談分野一覧表を見直し、各法人の相談員が相談連携に活用しました。また、広報誌や福祉委員委嘱状交付式等の際に、連絡会の取り組みを市民に周知しました。

②景観美化活動について

「クリーン大作戦！うきは!!」として、今年度は5月にJR うきは駅の清掃活動を、11月には市内のJR 筑後吉井駅、うきは市役所、うきは市民センターへプランターの寄贈を行いました。

期 日	会 場	参加者	内 容
R7.5.8	JR うきは駅	施設利用者 14 名 職員 30 名 合計 44 名	・ JR うきは駅構内および周辺の清掃活動
R7.11 中旬	市内 3 か所	—	・ プランターの寄贈

③子どもと高齢者・障がい者の交流会

今年度より新たな取り組みとして、「子どもと高齢者・障がい者の交流会」を行いました。

期 日	会 場	参加者	内 容
R8.1.21	エバーガーデンうきは	うきは幸輪保育園（30 名）、エバーガーデンうきは（21 名）、白鳥の家（4 名）	園児からダンス等を披露してもらい、プレゼントを渡しました。
R8.1.27	わかば幸輪保育園	わかば幸輪保育園、浮羽学園、えびね荘、希望が丘	感染症の増加により交流会は出来なかったが、園児と浮羽学園利用者がプレゼント交換を行いました。

④よりあい（ふれあいいきいきサロン）活動への支援について

地域からの依頼により、よりあいなどの地域の居場所活動等で「わくわく福祉出前講座」行いました。

期 日	開催団体・場所	協賛法人	内 容
R7.5.23	清流会	うきは市社会福祉協議会	お答えします！！介護保険のギ・モ・ン
R7.6.25	一の瀬よりあい	うきは市社会福祉協議会	防災について
R7.7.1	包末区よりあい	うきは市社会福祉協議会	介護保険について
R7.8.29	吉井校区第3老人クラブ	エバーガーデンうきは	施設見学
R7.11.11	八竜区よりあい	うきは市社会福祉協議会	介護保険について
R7.12.15	千足三丁目よりあい	うきは市社会福祉協議会	終活の話

⑤地域行事等への参加

各法人と自治協議会等のつながり作りとして、地域行事に各社会福祉法人から参加しました。

参加法人	期 日	内 容
図南会	R7.11.16	「大石福祉まつり」にて作品展示
両筑福祉会	R7.11.16	「妹川福祉祭」にて物品販売
	R7.11.16	「大石福祉まつり」にて物品販売
浮羽コロニー	R8.5.30 ～ 31	「ほたる祭り」にて準備・片付け・豚汁出店
遊林福祉会	R7.11.16	「大石福祉まつり」にて園児による歌の披露
	R7.11.22	「山春校区子育てと教育・福祉を進める集い」にて園児による歌の披露

⑥ひきこもり等の職場体験の受け入れについて

ひきこもり等の職場体験の受け入れについて、各法人が受け入れ出来ることをリスト化しました。（令和7年度受入調整なし）

⑦情報提供の充実について

各社会福祉法人の紹介や相談窓口の広報、協働での地域における公益的な取り組みを紹介するため、社協ホームページ内に、社会福祉法人連絡協議会ページを作成して周知を図りました。

⑧個人宅一斉清掃活動について

地域から相談があった個別課題への対応として、事例検討を行い、個人宅一斉清掃等をおこないます。(令和7年度対応なし)

II 地域福祉部門

《地域係》

1. 委員会研究事業

必要に応じ開催する特別委員会ですが、今年度の開催はありませんでした。

2. 連絡調整事業

(1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
地区自治協議会（福祉部門）	自治協議会（福祉部門）連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政（福祉事務所福祉係）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政（保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、生活支援体制整備事業他
行政（福祉事務所保護係）	行政・社協事務連絡調整会議	生活困窮者自立支援事業
行政（福祉事務所こども支援係）	行政・社協事務連絡調整会議	子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業
行政（消防防災係）	行政・社協事務連絡調整会議	うきは市災害ボランティアセンターの設置・運営に関する協定書の内容確認他
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容情報交換、課題解決他

(2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
要保護児童対策地域協議会代表者会・実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	保健課介護・高齢者支援係
うきは市自殺対策プロジェクト委員会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
「在宅医療介護連携センター事業」協議会・運営委員会・介護事業部会	地域における在宅医療提供体制の検討	浮羽医師会
地域ケア会議	個別ケース検討、ネットワーク構築 地域課題の把握	保健課介護・高齢者支援係
うきは市居住支援協議会	住宅確保要配慮者に対する情報提供 関係機関連携	保健課介護・高齢者支援係
うきは市地域障害者協議会	地域の障害福祉に関するシステムづくりについての協議	福祉事務所福祉係
うきは市子育てネットワーク会議	小・中学校相談事例検討	うきは市教育センター
うきは市男女共同参画審議会	男女共同参画施策の実施状況の検討	男女共同参画推進室
不登校・引きこもり対策相談支援事業サポート協議会	不登校・引きこもり対策相談支援事業に関するサポート協議	福祉事務所福祉係

3. 介護予防・生活支援体制整備事業（市受託事業）

(1) 市・社協連絡調整会議実施状況

事業推進にあたり、うきは市役所保健課介護・高齢者支援係と定例協議を行うと共に、令和7年11月より実証実験が始まったAIオンデマンドバス「のるーとうきは」の所管である交通政策係と連携し、地域住民が中心に行う移動支援活動の在り方を整理し、のるーとうきはの活用についても検討しました。

また、包括連携協定を結んでいるさわやか福祉財団とも必要に応じて打合せを行い、県内及び全国的な事業の情勢を含めたアドバイスをいただきました。

(2) 企業・関係機関との連絡調整

事業推進にあたり企業等と連携し、高齢者の幅広い生活支援を検討する機会が増えており、今年度も市内移動販売業者との連携協定会議へ参加し、現状や課題について共有を図りました。

(3) 第1層協議の場の開催状況

第2層協議の場及び各地区での取り組みの情報共有や課題提起等を目的に、うきは市主催による第1層協議の場に下記の通り参画しました。

今年度は、認知症になっても住み慣れた地域で“自分らしく”暮らし続けることができる社会を目指して、認知症をテーマに第1層協議の場を2回実施しました。

期 日	参加者数	内 容
R7.8.27	49 名	テーマ：認知症を自分事として考えるために… 今から工夫できることへ 講師：福岡県若年性認知症サポートセンター センター長 阿部 かおり 氏 グループワーク ①「自分が認知症になったらどんな風になるでしょうか」 ②「自分が望む暮らしのために、認知症の私が周りの人にどんな風に関わってほしいか」
R8.2.17	46 名	テーマ：認知症をきっかけに自分事として考えるために…今から工夫できることへ 講師：福岡県若年性認知症サポートセンター センター長 阿部 かおり 氏 報告：「前回の振り返りとチームオレンジについて」 報告者 うきは市役所保健課介護・高齢者支援係 グループワーク 「認知症の人が当たり前に地域や商店、施設での利用や活動に参加するにはどうしたらいいか？」

(4) 第2層圏域への支援（協議の場・第2層地域支え合い推進員・各種活動への支援）

千年地区については、今年度より第2層地域支え合い推進員が配置され、令和7年9月に「居場所」をテーマに千年地区協議の場が開催され、コミュニティセンターを活用した居場所について意見交換を行いました。福富地区については、令和8年1月に「防災と見守り」をテーマに福富地区協議の場「ふくどみ未来塾」を開催され、福富地区の3エリアで実施した「防災まちあるき」の報告とこれからの災害に備え地域でできることについて協議しました。

また、第2層地域支え合い推進員が配置されている、江南地区、御幸地区、妹川地区、山春地区については、各地区推進員との協議・打合せ等を重ね活動支援を行いました。なお、協議の場および第2層地域支え合い推進員未設置の地区についても自治協議会をはじめ地域の関係者と打ち合わせを重ね、地域の状況に応じて活動等を実施することができるよう支援を行いました。【第2層地域支え合い推進員が配置されている地区の取り組み（一部抜粋）】

江南地区	訪問型サービスD「江南一九の会」（移動支援） 通所型サービスB「なないろ」
御幸地区	通所型サービスB「にここサロン」 「いきいきサロン」 みゆきカフェ 28 御幸地区生活支援クラブ みゆきふれあい食堂
妹川地区	訪問型サービスD「わくわくいもがわ号」（移動支援）
福富地区	通所型サービスB「健康サークル ほっこり」 見守りベンチ作り 防災まちあるき（DIG 訓練、防災フィールドワーク）
山春地区	通所型サービスB「ほのぼの山春」 ウォーキングイベントの開催
千年地区	ちとせカフェ

(5) 地域資源の開発

生活支援グループ「おいしい絆クラブ」及び「14区おたすけ隊」に関して、役員会等へ参加し助言・活動支援等を行いました。また、「御幸地区生活支援クラブ」については、自立運営することが決まり、現在の活動内容の整理や規約の整備等の支援にあたりました。

移動支援については、「わくわくいもがわ号」（妹川地区）及び「江南一九の会」（江南地区）の2つの取り組

みについて、運営委員会や情報共有連絡会に参加し助言・活動支援等を行いました。また、江南一九の会では、のるーとうきはの実証実験開始に伴い、江南一九の会の在り方を整理するとともに、のるーとうきはの活用について検討しました。

地域の居場所活動については、千年地区地域支え合い推進員が中心となり、コミュニティセンターでみんなが集まり、困りごととも話せる居場所として「ちとせカフェ」が令和7年11月にオープンしました。また、御幸地区では、子どもたちだけでなく地域の誰もが集える居場所を目指して、子ども食堂の立上げを御幸地区地域支え合い推進員が中心となり検討し、「みゆきふれあい食堂」として立ち上がり、令和8年2月に試行実施されました。

(6) 地域支援事業に関連する会議等への参加について

うきは市が主催する「地域ケア会議」に参加し、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討、地域に共通した地域課題や地域に必要な資源の把握等を行いました。また、認知症総合支援事業に関連して、キャラバンメイト連絡会や認知症基本法施行にかかる意見交換会等へ参加し、本事業にかかる情報提供や協議を行いました。

4. ふれあいのまちづくり推進事業（市補助事業）

(1) 総合相談・援助

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談窓口を開設しました。

①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週水曜日 9:30～12:00 相談場所：第1・3週／吉井事務所 第2・4週／浮羽事務所

開設日数	48
相談者	13
相談経路	来所 9
	電話 4
相談件数	13

【相談援助事項】

終了解決	5
相談継続	0
社協による援助実施	0
司法書士相談紹介	1
障害年金相談紹介	0
他機関・組織への紹介	7
内訳	
民生委員児童委員	1
福祉事務所	1
その他行政機関	4
その他民間組織	1

【相談援助事項の分類】

相談事項	件数	分類	内数
家族	2	夫婦関係	1
		親子関係	1
健康・医療	1	医療施設	1
法律	2	遺言	1
		その他	1
その他	5	相隣関係の苦情	4
		その他の苦情一般	1
	3	その他	3
合計			13

②弁護士無料法律相談（福岡県弁護士会 筑後部会との共催）

相談開設：年12回（毎月第3木曜日） 相談場所：偶数月／浮羽事務所、奇数月／吉井事務所

相談開設日数	12
相談来訪者	84
相談件数	91

【相談結果】

指導助言	85
扶助協会への紹介	1
弁護士紹介	5
内訳	
相談担当者直受	2
継続相談	2
相談担当者以外	1

相談事項		件数	分類	内数
一般民事 関係	不動産関係	14	登記	1
			賃借権	5
			家屋明渡	2
			境界	1
			相隣	2
			その他	3
	債権関係	4	賃金	4
	損害賠償	9	交通事故	1
			医療事故	2
			傷害	1
			その他	5

相談事項		件数	分類	内数
一般民事 関係	家事関係	49	離婚	11
			離婚以外の夫婦関係	4
			相続	25
			親子	5
			その他	4
	その他	12	倒産破産	3
			労働関係	2
			その他	7
特殊事件		3	サラ金	2
			外国人	1
合計				91

③司法書士相談（福岡県司法書士会 筑後支部との共催）

相談開設：年 12 回（毎月第 4 木曜日）

相談場所：偶数月／吉井事務所、奇数月／浮羽事務所

相談開設日数	12	相談事項	件数
相談来訪者	43	不動産登記関連	23
相談件数	49	相続関連	13
		借金関連	2
相談結果		裁判関連	3
指導助言	49	成年後見関連	0
相談継続	0	会社登記関連	0
		その他	8
		合 計	49

④第三者委員苦情相談

相談開設：年 6 回

相談場所：浮羽事務所 5/7、9/2、1/6 実施
：吉井事務所 7/1、11/4、3/3 実施

	浮 羽	吉 井	合 計
相談開設	3	3	6
相談来訪者	1	0	1

⑤障害年金相談（福岡県社会保険労務士会 県南支部との共催）

相談開設：偶数月第 2 木曜日

相談場所：吉井事務所

相談開設日数	6
相談来訪者	10
相談件数	10

⑥相談員研修

相談員の資質向上を図るため、次の研修会を実施しました。

期 日	会 場	参加者	研修内容
R8.2.27	総合福祉センター	8 名	・研修「最近のうきは市の犯罪等の状況について、詐欺（詐欺被害）の現状について」 講師：うきは警察署 生活安全課

（２）地域生活支援事業

①地区自治協議会（福祉部門）連絡会

各地区自治協議会（福祉部門）の連携や情報交換を行うため、自治協議会（福祉部門）連絡会を開催しました。

【地区自治協議会（福祉部門）連絡会 検討内容】

回	期 日	検討・情報交換項目
第 1 回	R7.6.17	・各地区自治協議会（福祉部門）令和 6 年度事業報告について ・各地区自治協議会（福祉部門）令和 7 年度事業計画について ・うきは市社会福祉協議会令和 7 年度地域福祉課事業計画の概要について ・福祉小座談会の開催状況及び推進について ・福祉会の設置状況及び推進について
第 2 回	R7.10.24	・各地区自治協議会（福祉部門）中間報告 ・歳末たすけあい活動について ・福祉小座談会の開催状況及び推進について

②福祉委員活動

ア. 福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動に関わる内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするため、5月から毎月1日に「福祉委員かわら版」を発行し、福祉委員および区長、民生委員児童委員に配付しました。

イ. 福祉委員委嘱状交付式

各地区自治協議会と共催で福祉委員委嘱状交付式を行い、令和 7 年度は 335 名の方に委嘱しました。

③よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成を行いました。

開催回数／ 224 回 開催区数／ 65 箇所

参加内訳：高齢者／ 2,546 名 世話人／ 812 名 その他／ 387 名 参加者計／ 3,745 名

※小塩地区については、旧行政区にて集計しています。

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります。

※コロナ禍以降、よりあい活動を再開する区が年々増え、高齢者の閉じこもり防止、安否確認、地域の方々のふれあいの場となることを目的に実施されています。社協にも福祉委員より、ゲーム等のレクリエーションの他、健康や暮らしに役立つ講話等の相談が増え、協力いただける企業やボランティアに依頼し、対応に努めました。

地 区	開催区	行政区	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	2	5	298 名	118 名	22 名	438 名	24 回
新川地区	0	8	0 名	0 名	0 名	0 名	0 回
田籠地区	0	1	0 名	0 名	0 名	0 名	0 回
小塩校区	0	13	0 名	0 名	0 名	0 名	0 回
山春校区	6	17	167 名	59 名	38 名	264 名	18 回
大石校区	18	18	320 名	160 名	41 名	521 名	25 回
御幸校区	11	28	395 名	121 名	90 名	606 名	25 回
千年校区	10	20	662 名	173 名	110 名	945 名	59 回
福富校区	6	15	176 名	49 名	34 名	259 名	16 回
吉井校区	2	23	59 名	15 名	0 名	74 名	6 回
江南校区	10	19	469 名	117 名	52 名	638 名	51 回
計	65	167	2,546 名	812 名	387 名	3,745 名	224 回

④地域生活支援活動の支援

地区自治協議会・行政区・ボランティア団体等が行う生活支援活動に対して、役員会・定例会等への参加等の活動支援および、運営支援を行いました。

支援団体

- 1) 住民型有償サービス 14 区おたすけ隊（14 区内における生活支援活動）
- 2) 住民型有償サービス おおいし絆クラブ（大石地区における生活支援活動）
- 3) 御幸地区自治協議会 生活支援クラブ（御幸地区における生活支援活動）

(3) 住民参加による地域福祉事業

① ボランティア活動の推進

ア. ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝は休み）の8:30～17:15にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて受給調整を行いました。また、月・水曜日の9:30～15:00は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。

【ボランティアセンター相談受付状況】

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	6
②ボランティア依頼	25	20	27	17	12	17	20	28	18	24	17	16	241
③情報収集	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
④その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27	20	27	17	14	17	21	28	19	24	17	16	247

イ. ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）、ボランティアセンター登録団体への斡旋等を行いました。ボランティア活動相談については、希望に応じて個人や各機関と連絡調整しながら、ボランティア参加を促しました。

【ボランティア活動依頼内訳】

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出・生活援助	通院・通所介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出・旅行介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	23	20	25	17	11	17	20	24	18	23	16	230
	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
	小修理	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
	理容・美容カット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	イベント手伝い・出し物披露	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	5
技能提供	朗読・点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・点字指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他のボランティア		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		25	20	27	17	12	17	20	28	18	24	17	241

ウ. ボランティア活動保険加入促進

うきは市内や各地の被災地でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア活動保険加入者数 590 名】

エ. ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑に行われるよう、活動費の助成や活動支援を行いました（助成金額 594,870 円）。

今年度は、5月16日（金）に総会、10月22日（水）に役員視察研修として、香春町採銅所地域コミュニティ協議会の取組について学び、また、令和8年1月24日（土）にうきは市民センター3階小ホールにて、会員のつどいが開催され、会員同士の交流と情報交換が実施されました。

【うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧】

(令和8年3月31日現在)

	団体名	会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会	58	高齢者（一人暮らし・老夫婦）とのふれあい食事会や手作り弁当の声かけ訪問配布、年末年始声かけ訪問等を行う
	音訳ボランティア 声のグループうさぎ	3	視覚障害者の方に市情報（広報うきは）や物語を録音し届ける
	ハンディ移送サービスうきは	8	高齢者・障がい者の病院等へ移送サービス（会員制）
	ハッピーかい	16	福祉施設や市内のよりあいにて手のぬくもりと会話による癒しをお届けする
	朗読ボランティア ともしび会	7	視覚障がい者の方に市情報（ふくしのかわら版、うきは市議会だより、赤い羽根だより）や物語を録音し届ける
	点筆の会	8	視覚障がい者の方に暮らしに役立つ身近な情報を点訳し届ける
	かりん	14	「かわはらさんち」「こころん」へのおやつ差し入れ、一人暮らし高齢者交流会での調理協力
	夕月の会	9	一人暮らし交流会、施設訪問にて銭太鼓等を披露
	ガイドヘルプボランティア	1	障がい者の外出支援
団体・グループ：9 会員数 124 名			
把握団体	うきは市手話の会	22	聴覚障がい者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	うきうき会（健康づくりボランティア）	10	公民館等において高齢者を対象に軽い体操を実施
	うきは市食生活改善推進会	41	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろり	6	クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもや高齢者にプレゼントを配布
	うきは図書館友の会	14	図書館行事の支援ボランティア
	幸せの会クローバー	9	現役在宅介護者の相談相手や、介護教室等のサポート
	螢火うきは	17	災害ボランティア、ホテル再生活動、被災者支援、防災教育
	防災ネットワーク 人のわ（輪）	14	防災啓発としての講演、計画支援、訓練支援等、発災時及び発災後の支援
	団体・グループ：8 会員数 133 名		
個人	運転ボランティア	28	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	18	市内でのよりあいで健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	17	ボランティアセンター個人登録者
個人：64 名			
活動者合計 団体・グループ 17（257 名） 個人 64 名			

オ. ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、必要な資材を購入し貸出を行いました。

カ. よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区から指導依頼に応じて、よりあいコーディネーターの派遣調整を行いました。（よりあいコーディネーター登録者：個人 18 名 団体 2 団体）。令和7年度は、よりあいコーディネーターフォローアップ講座を実施し、20 名の方が受講されました。

【ボランティア派遣実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	12	12	20	20	11	14	27	20	8	12	19	11	186
団体	0	1	1	0	0	2	1	2	0	0	3	0	10

キ. ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方を対象に、ボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R7.7.14	うきは市立自動車学校	13 名	運転ボランティア安全運転講習会 (講話・実技：うきは市立自動車学校)

ク. ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化の為、次のつどいに参加しました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R8.2.15	クローバープラザ（春日市）	27名	ふくおか“きずな”フェスティバル

（４）災害緊急支援活動

①災害ボランティアセンターマニュアルの随時見直し

緊急・災害対策検討委員会を設置し、災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施について協議するとともに、災害時業務継続計画（BCP）策定について協議しました。

回 数	期 日	内 容
第 1 回	R7.4.30	・災害ボランティアセンター設置運営訓練について ・災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて ・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて ・今後の災害ボランティアセンターの運営について ・防災道の駅（防災倉庫）資機材の整備について
第 2 回	R8.2.26	・両筑地区地域協働型災害ボランティアセンター実地訓練について ・道の駅うきは防災倉庫資機材整備について ・災害用資機材講習・螢火うきはとの意見交換会について ・常設災害ボランティアセンター移転について

②災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

うきは市災害ボランティアセンターに係るうきは市との協定に基づき、平時の取り組みとして、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施しております。令和 7 年度については、常設災害ボランティアセンターの資機材講習会の実施と両筑地区地域協働型災害ボランティアセンター実地訓練に参加しました。

期 日	会 場	内 容
R7.6.21	浮羽森林組合 機械センター	常設災害ボランティアセンター災害用資機材講習会
R8.1.23	大刀洗町ドリームセンター	両筑地区地域協働型災害ボランティアセンター実地訓練 ・社協職員向け研修 ・基調講演「多様な主体が連携した被災者支援活動について」 講師 NPO 法人にいがた 災害ボランティアネットワーク 理事長 李 仁鉄 氏 ・パネルディスカッション「社協×団体× NPO」

③災害支援ボランティア団体「螢火うきは」との連携・支援活動助成

災害支援ボランティア団体「螢火うきは」と連携し、平時より意見交換や情報共有、有事には被災地での共同活動を行い、活動費の助成や活動支援を行いました。（助成総額：180,000 円）

④常設災害ボランティアセンターの設置

災害が発生した際、被災地への災害ボランティア活動が迅速に行えるよう、常設の災害ボランティアセンターを設置し、災害用資機材を保管しています。今年度センターを旧御幸保育園へ移転しました。

5. 共同募金配分金事業

（１）福祉教育に関する事業

①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育指定校連絡会を開催しました。コロナ禍で自粛していた体験学習や訪問活動が再開したことを各学校より報告いただきました。

開催日：令和 7 年 7 月 8 日（火）

会 場：うきは市総合福祉センター

参加者：市内小・中・高等学校（参加：出席 9 校）

②福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校 10 校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金を交付しました。

※各学校ごとに計画を立て活動を行っていますが、助成金の残額については年度末に返還がありました。

学校名	年度当初助成額	年度末返金額	助成実績額
山春小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
大石小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
御幸小学校	70,000 円	2 円	69,998 円
千年小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
吉井小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
福富小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
江南小学校	70,000 円	0 円	70,000 円
浮羽中学校	70,000 円	0 円	70,000 円
吉井中学校	70,000 円	107 円	69,893 円
浮羽究真館高等学校	38,000 円	0 円	38,000 円
合 計	668,000 円	109 円	667,891 円

③福祉体験学習の支援

今年度は、市内全ての小学校からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施。ゲストティーチャー等の斡旋を行いました。福祉体験学習を実施する際には、地域の方や介護用品レンタル事業所、ボランティアにもご協力をいただきました。

実施日	学校名	内 容
R7.5.14	大石小 4 年生	身体障害について、車いす体験（社協職員、ボランティア対応）
R7.5.20		聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話）
R7.5.22		視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話）
R7.6.3	千年小 4 年生	身体障害について、車いす体験（社協職員、ボランティア対応）
R7.6.6		視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話）
R7.6.19	吉井小 3 年生	視覚障害について（当事者からのお話）
R7.7.11	吉井小 4 年生	よりあいについて （「つどいの場かわはらさんち」にて地域の高齢者とよりあい体験）
R7.9.2	福富小 4 年生	聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話）
R7.9.4		視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話）
R7.9.11		身体障害について、車いす体験 （社協職員、介護用品レンタル事業所、ボランティア対応）
R8.1.27	江南小 4 年生	聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話）
R8.1.29		視覚障害について（当事者からのお話）
R8.2.6		身体障害について、車いす体験 （社協職員、介護用品レンタル事業所、ボランティア対応）
R8.2.4	山春小 4 年生	視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話）
R8.2.19		身体障害について、車いす体験 （社協職員、介護用品レンタル事業所、ボランティア対応）
R8.2.10	御幸小 4 年生	視覚障害について、アイマスク・白杖体験（当事者からのお話）
R8.2.13		身体障害について、車いす体験 （社協職員、介護用品レンタル事業所、ボランティア対応）
R8.2.17		聴覚障害について、手話体験（当事者からのお話）

④福祉教育教材の配布

福岡県社協が作成・発行している、福祉教育教材「ともに生きる」を市内全小学校の 4 年生および担当教諭に 1 冊ずつ配布しました。

・ 270 冊（無償配布）

(2) 高齢者への支援

①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出を行いました。

②金婚祝福の会

結婚 50 周年を迎えられたうきは市内に居住するご夫婦を対象に、金婚祝福の会を開催しました。

・開催日／令和 7 年 11 月 7 日（金） 会場／白壁ホール

該当者／ 38 組（76 名） 出席者／ 33 組（64 名）

③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団 体 名	助成金額	活動内容
うきは市老人クラブ連合会	615,870 円	・ペタンク大会 ・幹部研修会 ・高齢者相互支援リーダー研修会 ・北筑後地区老連主催グラウンドゴルフ大会 ・広報誌作成 ・女性部視察研修

④在宅介護者の会「コスモスの会」活動支援助成

在宅介護者の会「コスモスの会」活動への事務的支援と活動費助成を行いました。（助成金額：99,456 円）

期 日	会 場	参加者	内 容
R7.6.4	御幸コミュニティセンター	22 名	総会
R7.7.9	うきは市民センター	6 名	役員会
R7.7.30	御幸コミュニティセンター	18 名	介護勉強会
R7.8.27	うきは市総合福祉センター	16 名	介護教室
R7.9.17	御幸コミュニティセンター	15 名	調理教室
R7.10.29	御幸コミュニティセンター	16 名	陶芸教室
R7.11.12	御幸コミュニティセンター	16 名	ちぎり絵教室
R7.12.3	御幸コミュニティセンター	12 名	調理教室
R8.1.14	お食事処うきは	6 名	役員会
R8.2.7	筑前町近郊	16 名	初詣
R8.2.7	めくばー市民ホール	17 名	認知症公開講座
R8.3.1	御幸コミュニティセンター	14 名	定例会 / 活動内容の振り返り

⑤高齢者安心カード作成（個人情報記載携帯カード）

外出先での急な体調不良に備えるため、主治医や親族の連絡先を記載した「高齢者安心カード」を作成しています。老人クラブを通じて概ね 75 歳以上の登録希望者の方に申し込み記入用紙を配布し、52 名の方の携帯用カードの作成と配布を行いました。

(3) 児童・青少年福祉に関する支援

①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる団体に活動費および備品購入費の助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
ウキまばあく	23,772 円	・ベビーマッサージ&スキンケア ・リフレッシュヨガ ・命名書&ベビーフォト撮影会 ・産後の骨盤ケア&おくるみタッチ ・夏祭り ・食育教室 ・歯固め作り ・足育と爪ケア講座 ・子育てマナー講座 ・フットリフレクソロジー

②子ども用遊具貸出

子ども会や学童保育所、子育て支援団体等に必要遊具の貸出を行いました。

③母子・父子福祉活動事業

令和 8 年度小学校に入学されるお子さんがいるひとり親世帯のうち、希望者に対して、新入学お祝いとして学用品（水彩道具セット）をお送りしました。（お祝い品配布者数：27 名）

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の相談や各種活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市母子寡婦福祉会	336,359 円	・野球観戦 ・バスハイク ・クリスマス会 ・いちご狩り ・寡婦交流会

⑤子育て支援情報の提供

社協の広報誌「ふくしのかしら版」にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

⑥福祉体験学習

■冬のキッズチャレンジ大作戦「ボッチャ体験」

令和 8 年 1 月 31 日（土）、「パラスポーツを楽しく学ぼう」をテーマに、主に小学生を対象に実施しました（20 名参加）。

⑦保護司会青少年弁論大会への支援・助成

うきは保護区保護司会が行った「うきは青少年弁論大会」への助成を行いました。（助成金額 40,000 円）

⑧「車に子どもが乗っています」ステッカーの配布

うきは市に生まれる子ども達を、地域みんなで支え・育てるという意識の醸成と赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、本会にて作成したステッカーおよび子育て等に関する相談窓口等を記載したチラシを、うきは市役所にご協力いただき、出生届提出時に市役所窓口にて配布しました。

・配布者数：123 名（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月出生者数）

⑨市内小学校新入学児童への黄色い傘配布

うきは市で育つ子ども達を交通事故等から守り、安全で楽しい学校生活を送るために地域の皆で支え・育てるという意識の醸成および赤い羽根共同募金の周知・協力の推進を目的に、共同募金会うきは市支会のオリジナルキャラクター「こころちゃん」とうきは市公式キャラクター「うきぴー」をプリントしたオリジナルの黄色い傘および子育て等に関する相談窓口を記載したチラシを、うきは市教育委員会および各小学校にご協力いただき、配布しました。

・配布者数：196 名（令和 8 年 4 月入学予定児童）

⑩小・中学校制服リサイクル事業への支援・助成

うきは市内の小・中学校 PTA が行う制服のリサイクル事業に対し、クリーニングにかかる費用の助成を行いました。

団体名	助成金額	内訳
浮羽中学校 PTA	0 円	受領数：0 着 配布数：21 着
山春小学校 PTA	7,400 円	受領数：12 着 配布数：9 着
大石小学校 PTA	7,750 円	受領数：13 着 配布数：11 着
御幸小学校 PTA	9,050 円	受領数：15 着 配布数：20 着
千年小学校 PTA	18,500 円	受領数：30 着 配布数：31 着
合 計		42,700 円

※浮羽中学校では、令和 6 年度より制服が変更となったため、浮羽中学校 PTA と話し合い、制服を受領しない形で対応。令和 10 年度までは、旧制服が使用可能なため、制服の配布は継続している。

⑪子育てママの健康美容体操教室

子育て中のお母さんの心と身体のリフレッシュ事業として、子育てママの健康美容体操教室を実施しました。体操教室中の託児を子育て支援グループのウキままばあくに協力いただきました。

開催回数／ 5 回 参加者数／ 17 名（市内または近隣の乳児・幼児の保護者の方）

託児数／ 17 名 託児支援者数／ 7 名

（４）障がい者・家族への支援

①障がい者団体活動支援・助成

障がい者（支援）団体について、担当職員を配置し、団体活動の相談にあたり、活動の助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市障がい者福祉協会	503,934 円	・会員交流活動（2 回） ・役員会
うきは地区精神障害者家族会	80,000 円	・会員交流活動（1 回）
うきは市手話の会	40,000 円	・会員研修交流活動（1 回）
合計	623,934 円	

②障がい者福祉情報の提供

ふくしのかわら版にて、障がい者福祉サービスに関する情報提供を行いました。

（５）住民全般に関する事業

①地区自治協議会（福祉部門）・活動費助成

自治協議会（福祉部門）活動について、地区担当職員を配置し、活動支援、連絡調整などを行いました。

〔地区自治協議会（福祉部門）活動費算定基準〕

基本配分：各地区とも一律 70,000 円

区数配分：一行政区につき 3,500 円

世帯数配分：一世帯につき 175 円

高齢率配分：うきは市の高齢率 36.0%（R6.4.1 現在）を基本値（100%）として、各地の高齢率比率を算出し、基本額 100,000 円から、その比率に応じて算出。

各地区自治協議会（福祉部門）に次の活動費を助成いたしました。

【各地区自治協議会助成実績】

妹 川	新 川	田 箆	小 塩	山 春	大 石	御 幸
121,888 円	105,313 円	128,554 円	271,300 円	405,000 円	426,100 円	368,607 円

千 年	吉 井	福 富	江 南	合 計
346,624 円	244,682 円	118,643 円	211,510 円	2,748,221 円

※上記金額には過年度返還金を差し引いた金額を記載しております。

※活動費は各地区自治協議会（福祉部門）における、友愛訪問、福祉委員の研修など、それぞれの地区活動に活用されています。

②社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の地域生活課題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月 1 日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だより」を発行し、全戸に配布しました。（年 1 回 ※発行日：令和 8 年 4 月 1 日）

④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

区長業務説明会において助成の説明を行いました。今年度は申請がありませんでした。

⑤要支援・低所得世帯に対する物品寄付

市民の皆様や各関係機関から寄贈していただいております物品を社協にて管理し、支援が必要な世帯や生

活困窮等により物品を購入することが難しい方にお渡しし、利用していただいております。

物品受贈数	4 件	クッション…1 件 クローゼット…2 件 洗濯機…1 件
物品寄贈数	6 件	クッション…1 件 電気ストーブ…1 件 冷蔵庫…1 件 テレビ…1 件 クローゼット…2 件

⑥火災等災害被災者へのお見舞い

火災・水害の被害に遭われた市民に対し、見舞金を贈りました。

・件数：5 世帯（総額：200,000 円）

内訳）火災 件数：4 世帯（うち全焼 3 件、半焼 1 件）

水害 件数：1 件（床上浸水）

（6）歳末たすけあい配分事業に関すること

①歳末見舞金

年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。（事業総額：1,738,000 円）

援護の必要な世帯	27 世帯	828,000 円
長期在宅療養・認知症の方	9 名	126,000 円
在宅重度障がい者（児）	53 名	742,000 円
事故・病気・災害遺児	1 名	14,000 円
両親の扶養のない児童	2 名	28,000 円

②年末年始援助活動

年末年始援助活動事業費として次の事業に助成金を交付しました。（事業総額：1,684,353 円）

①一人暮らし高齢者等見守り訪問活動 623,205 円 見守りの必要な世帯へのカレンダー配布（712 世帯）
②施設地域交流事業 92,584 円 浮羽学園「クリスマス交流会」 障害者支援施設希望が丘「お正月飾り配布」「年賀状配布」 ワークサポート白鳥の家「お楽しみ交流会」
③干支飾り配布事業 6,792 円 吉井幼稚園による干支飾り配布事業（421 世帯）
④子育て支援事業 154,305 円 大石・御幸・千年・吉井・福富・江南学童保育所利用児の年末年始交流事業
⑤自治協議会（福祉部門）年末年始援助活動事業 709,791 円 各地区自治協議会（福祉部門）による年末年始援助活動
⑥交流活動事業 40,000 円 うきは市手話の会による交流会活動
⑦地域交流事業 50,196 円 江南地区自治協議会女性部による「かたらんね食堂（地域食堂）」 ボランティア連絡協議会ハッピーかい「手のぬくもりと心の癒しのお届け活動」
⑧郵便料・配分金振込手数料 7,480 円

6. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業（市受託事業）

うきは市では、「我が事・丸ごと」の地域づくり推進事業を実施し、地域生活課題を住民が我が事としてとらえ、主体的に解決を図ることができる地域づくりを進めています。住民が抱える困難な課題を丸ごと受け止め、多様な関係機関と協働し、包括的な支援を行いました。

なお、本事業は重層的支援体制整備事業として取り組み、属性や世代を問わない相談支援やアウトリーチを通じた継続的支援、社会とのつながりを回復するための参加支援事業等を推進しています。

（1）福祉小座談会の実施

行政区の役員（区長、分館長、福祉委員、民生委員等）の皆さまと地域での悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。

地 区	開催区／行政区	実施区名
山 春	8 / 17	吉広区／下組区／上組区／北原区／袋野区／川箆石区／西長瀬区／原口区
大 石	15 / 18	東の一区／東の二区／東の三区／東の四区／東の五区／東の六区／西の四区／西の五区／祇園町区／川端区／下ノ丁区／温泉区／古川村区／糸丸区／中鶴区
御 幸	22 / 28	今川通区／東町区／中町区／吉江区／川原町区／宮本区／隈の上区／本町区／旭町区／千足三丁目／中川原区／朝田原区／一の瀬区／小坂区／上流川区／下流川区／東浮羽区／御幸通区／千足五丁目区／浮羽区／大崎区／西町区
千 年	8 / 20	長野区／福久区／折敷町区／上宮田区／宮田区／角間区／日の岡区／包末区
福 富	14 / 15	東屋部区／西屋部区／東延寿寺区／西延寿寺区／安富区／東屋形区／西屋形区／千代久区／北福益区／東福益区／西福益区／竹重区／冠区／八竜区／
江 南	10 / 19	三牟田区／末石区／稲崎区／太田区／富光小向区／高田区／島区／岩光区／下菅区／上古賀区
合計 77 行政区		

(2) 福祉会設置推進及び研修会

福祉会役員及び各地区自治協議会（福祉部門）役員等を対象に、福祉会研修会を開催しました。

【令和 7 年度福祉会研修会】

日 時：令和 8 年 2 月 18 日（水）19 時～ 21 時（参加者：43 名）

会 場：るり色ふるさと館 2 階 研修室 4・5

講 演：地域の見守りと気にかけるきっかけ～気づく力を高める～

講 師：九州大谷短期大学 幼児教育学科 教授 中村 秀一 氏

(3) 福祉会活動支援・助成

うきは市内に 33 福祉会（40 行政区）がありますが、助成要望書の提出があった 25 の福祉会について、活動費の助成をおこないました。

地区	福祉会名	設立年度	地区	福祉会名	設立年度
大石	古川村区福祉会	平成 12 年度	御幸	朝田原区福祉会	平成 20 年度
山春	保木区福祉会	平成 12 年度	御幸	中町区福祉会	平成 20 年度
山春	袋野区福祉会	平成 12 年度	御幸	御幸通区福祉会	平成 20 年度
山春	西長瀬区福祉会	平成 12 年度	御幸	浮羽区福祉会	平成 21 年度
山春	荒瀬・畑中区福祉会	平成 12 年度	大石	西の四区福祉会	平成 22 年度
御幸	川原町区福祉会	平成 13 年度	山春	吉広区福祉会	平成 24 年度
妹川	樫ヶ平区福祉会	平成 13 年度	山春	上組区福祉会	平成 24 年度
御幸	旭町区福祉会	平成 13 年度	山春	下組区福祉会	平成 24 年度
山春	三春原区福祉会	平成 14 年度	江南	庄園区福祉会	平成 26 年度
大石	東の六区福祉会	平成 15 年度	江南	今泉区福祉会	平成 27 年度
大石	中鶴区福祉会	平成 15 年度	山春	原口区福祉会	平成 28 年度
大石	糸丸区福祉会	平成 15 年度	江南	今竹区福祉会	平成 28 年度
山春	大野原区福祉会	平成 16 年度	大石	西の一区福祉会	令和 5 年度
大石	東の四・五区福祉会	平成 17 年度	大石	西の二区福祉会	令和 5 年度
大石	東の一・二・三区福祉会	平成 17 年度	大石	西の三区福祉会	令和 5 年度
大石	古川町福祉会	平成 17 年度	大石	西の五区福祉会	令和 5 年度
山春	川箆石区福祉会	平成 18 年度			

助成金については、基本助成として 10,000 円を、活動応分助成として実績を精査の上で追加助成します。

なお、大野原区福祉会、荒瀬・畑中区福祉会、袋野区福祉会、川箆石区福祉会、三春原区福祉会、東の六区福祉会、御幸通区福祉会、庄園区福祉会については、助成要望書の提出がありませんでした。

(4) 「生活・福祉丸ごと相談」窓口の開設および相談支援

社会福祉協議会の吉井・浮羽事務所に「生活・福祉丸ごと相談」の窓口を設置し、各種支援を行いました。

【生活・福祉丸ごと相談対応件数】

相談者（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本人	15	8	10	14	9	9	14	8	5	7	13	11	123
家族	2	1	6	9	1	3	1	5	2	1	8	3	42
地域の関係者	8	5	4	5	0	5	3	0	4	13	6	6	59
専門機関	11	8	13	5	3	5	5	1	5	6	8	15	85
その他	0	0	0	2	2	2	5	3	0	0	1	3	18
合計	36	22	33	35	15	24	28	17	16	27	36	38	327

※相談に複数の関係者が同席している場合があり、それぞれ1人としてカウントしている。

相談内容（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者に関すること	23	16	21	18	8	11	4	11	11	12	7	1	143
障がい者に関すること	0	2	2	0	0	0	3	0	2	0	1	0	10
子どもに関すること	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
生活困窮に関すること	27	18	9	10	8	3	5	2	2	12	15	23	134
住まいに関すること	5	6	8	12	2	3	4	3	0	0	10	4	57
生活に関すること	32	20	22	29	11	18	20	13	15	22	23	29	254
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	87	63	62	69	30	35	36	29	30	46	56	57	600

※1件の相談で相談内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

対応件数（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	4	2	6	10	5	5	8	11	5	8	8	7	79
訪問	10	7	4	4	1	3	3	2	2	5	13	9	63
同行支援	2	0	0	1	2	2	2	1	0	1	1	0	12
面談	3	2	1	7	2	2	3	2	4	4	2	5	37
関係機関との調整	13	9	11	7	2	6	6	1	4	4	6	13	82
援護物品の提供	1	1	0	1	1	0	0	0	0	3	5	6	18
その他	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
合計	35	21	22	30	13	18	22	17	16	25	35	40	294

※1件の相談で対応件数が複数あったものはそれぞれカウントしている。

支援内訳	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続
アウトリーチ	3	22	0	16	2	14	1	20	0	6	1	11
参加支援	0	0	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0
その他	4	3	3	1	3	3	3	2	2	3	4	2
合計	7	25	3	17	5	17	5	24	2	10	5	13

支援内訳	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続
アウトリーチ	0	6	0	7	1	10	2	11	1	26	0	23	11	172
参加支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	5
その他	4	12	6	4	4	1	3	6	1	3	7	4	44	44
合計	4	18	6	11	5	11	5	17	2	29	7	29	56	221

アウトリーチ：複雑化・複合化した課題を抱えた方、本人の主訴が明確ではなく課題の整理が必要な方に対し、継続的な支援を行った件数

参加支援：社会とのつながりの構築に向けて、必要な支援を行った件数

その他：相談のみで対応し、終結もしくは他機関につないだ件数

(5) 民生委員・福祉委員懇談会への助成

民生委員と福祉委員の活動推進を図るため、情報共有や相互の連携を 目的とした地区懇談会の開催に対して助成を行いました。

助成実施行政区：44 行政区（吉井：19 行政区 浮羽：25 行政区）

参加者：113 名（民生委員・福祉委員・区長・分館長・ボランティア等）

7. 生活困窮者等のための地域づくり事業（市受託事業）

生活困窮世帯が抱える多様な生活課題に対応できるよう、課題やニーズ等の把握、生活困窮者支援に関わる情報発信、地域や団体、企業、関係機関等の多様な担い手が連携する仕組みづくりを通じて、身近な地域における共助の取り組みを活性化させ、うきは市が一体となって支え合える体制づくりと生活困窮者支援の拡充を図りました。

(1) 市民公開講座の開催

支え合いのまちづくりに向け、下記の市民講座を行いました。

期 日	会 場	参加者数	内 容
R8.3.10	るり色ふるさと館	38 名	①講演 「子ども達を取り巻く「貧困」 ～今を生きる子ども達に出来ることとは～」 講師：筑紫女学園大学 人間科学部 准教授 大西 良 氏 ②事業説明 「うきは市社会福祉協議会がおこなう生活困窮者支援と子どもに係る支援について」 「うきは市社会福祉協議会がおこなうフードバンク事業について」 報告者：うきは市社会福祉協議会 地域福祉課 地域係・相談支援係

(2) 市内子ども食堂との連携

市内子ども食堂、地域活動団体との連携を図るため食料品等の提供を行いました。

- ①よいい子ども食堂 提供回数：11 回（野菜・米・冷凍食品等）
- ②うきはみらいゼミ 提供回数：10 回（野菜・調味料等）
- ③みゆきカフェ28 提供回数：2 回（コーヒー豆・スティックシュガー）
- ④ふくどみ子ども・地域食堂運営委員会 提供回数：3 回（野菜・冷凍食品等）

(3) フードバンク事業 うきうきフードバンク『うきたべる』の開設

うきは市内で生活に困っている方など、様々な事情で食べることに課題を抱えている方々に対して、個人や団体、企業の方々からいただいた食料品等を提供し、食を通じた支援を行うため、フードバンク事業を令和6年度より立ち上げ、事業名称をうきうきフードバンク「うきたべる」、活動に協力いただける団体・企業を「うきうき隊」と名づけ、親しみの持てる名称とし、食を通じた支援活動と支え合いの体制づくりを進めました。

①協力企業（サポーター（うきうき隊））の登録

事業の趣旨にご賛同いただいた企業・団体・法人等にサポーターとして登録していただき、本事業へ様々な支援をいただいています。本年度新たに下記の5つの事業所にサポーター登録をいただきました。

（登録企業・団体・法人数 24 ※令和8年3月末現在）

- 〔1〕西日本新聞エリアセンター筑後吉井〔2〕西日本新聞エリアセンター浮羽
- 〔3〕西日本新聞エリアセンター大石〔4〕ma'am（旬菜弁当）〔5〕株式会社 eat & grow（ぱんのもっか）

団体	企業
高齢者複合施設ケアビレッジかわせみの郷	うきはアリーナ
社会福祉法人ひじり会 特別養護老人ホーム ひじり園うきは	セブン-イレブン 福岡吉井新馬場店
社会福祉法人幸福福祉会 有料老人ホーム エバーガーデンうきは	セブン-イレブン うきは鷹取店
社会福祉法人両筑福祉会 浮羽学園	セブン-イレブン うきは千年店
社会福祉法人関南会 特別養護老人ホーム えびね荘	セブン-イレブン うきは高見店

社会福祉法人浮羽コロニー 障害者支援施設 希望が丘	セブン-イレブン うきはバイパス店
社会福祉法人幸輪会 うきは幸輪保育園	セブン-イレブン うきは土取店
社会福祉法人幸輪会 わかば幸輪保育園	西日本新聞エリアセンター筑後吉井
社会福祉法人遊林福祉会 幼保連携型認定こども園 遊林愛児園	西日本新聞エリアセンター浮羽
社会福祉法人ふたば会 特別養護老人ホーム 水月吉井	西日本新聞エリアセンター大石
社会福祉法人ふたば会 養護老人ホームうきは	ma'am (旬菜弁当)
福富校区老人クラブ連合会	株式会社 eat & grow (ぱんのもっか)
合計 12 団体	合計 12 企業

②サポーター連絡会の開催

今年度新たな取り組みとして、フードバンク事業へサポーター登録いただいている企業・法人・団体の皆様への事業報告及び今後の更なる事業推進を目的に下記の通り連絡会を開催しました。

日時 令和7年10月8日(水) 15時～16時

場所 うきは市総合福祉センター 1階 理事会室

内容 〔1〕フードバンク事業「うきたべる」について(令和6年度報告 令和7年度経過報告)

〔2〕意見交換

〔3〕フードバンク事業ロゴデザインの選定

〔4〕その他

③フードバンクロゴデザインの作成

事業の更なる周知を目的に、市内の中学校・高等学校の生徒を対象にロゴデザイン案を募集しました。合計45名の応募があり、デザイン監修を行っていただいたデザイナーによる一次選考、本事業にご協力いただいているサポーターの皆さんによる最終選考を経て、右記のとおり決定しました。なお、ロゴデザインについては、本事業のチラシやステッカーなどに活用しています。



④食料品等の定期提供受け取りについて

食料品等を定期的にご提供いただいている下記の企業・団体に担当職員が受け取りに行き、必要とする世帯や子ども食堂等へ提供しました。

- ・JA にじ耳納の里 受取日: 毎週月・水・金曜日(但し店休日を除く)
- ・フードバンク福岡久留米サテライト 受取日: 毎月第1・第3金曜日
- ・セブン-イレブン市内各店舗(6か所) 受取日: 毎月第3水曜日

⑤使途指定寄付の受付と寄付金の活用について

サポーター登録いただいている企業の協力による事業広報や、赤い羽根共同募金にご協力いただいている企業・団体へ事業周知のチラシを送付したこと等により、個人や企業より本事業へ寄付金(使途指定寄付)のご協力をいただくことが出来ました。

いただいた寄付金については、物品でのご寄付が難しい乳幼児用品(紙おむつ・粉ミルク等)や長期保存の可能な食料品(缶詰・フリーズドライ食品)、小学校の朝食支援用の栄養補助食品などを購入する費用として活用しました。

寄付総額: 250,000 円(個人6名 企業・団体1社)

⑥フードパントリーの実施

令和6年度まで社会福祉法人連絡協議会で実施していただいたフードパントリーについては、今年度より本事業にて引き続き実施し、「食を通じた支援」の入り口として、その後のフードバンク支援をはじめとする各種支援につなげました。

また、フードパントリー実施に併せて、サポーター協力いただいている企業・団体・法人等にご協力いただき、フードドライブ(食料品等の募集)を行っていただきました。

■フードパントリー実施期間・配布世帯

第1回 令和7年9月2日(火)～9月4日(木) 配布 58世帯(208名)

第2回 令和8年2月2日(月)～2月3日(火) 配布 70世帯(241名)

【フードパントリーに協力いただいた企業・団体・法人】

- ・うきはアリーナ
- ・セブン-イレブン市内6店舗
(福岡吉井新馬場店、うきは鷹取店、うきはバイパス店、うきは高見店、うきは千年店、うきは土取店)
- ・西日本新聞エリアセンター筑後吉井、浮羽、大石
- ・特定非営利活動法人フードバンク福岡、福富校区老人クラブ連合会
- ・高齢者複合施設ケアビレッジかわせみの郷
- ・社会福祉法人関南会（えびね荘）、社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）
- ・社会福祉法人ふたば会（水月吉井・養護老人ホームうきは）
- ・社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）、社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）
- ・社会福祉法人幸輪会（うきは幸輪保育園・わかば幸輪保育園）
- ・社会福祉法人幸輪福祉会（エバーガーデンうきは）
- ・社会福祉法人ひじり会（ひじり園うきは・にじの家）、匿名（3団体）

⑦フードバンク支援件数

フードバンク支援団体および本事業にご協力いただいている企業・団体・法人等より提供いただいた食料品等を必要とされる世帯等へ提供するとともに相談支援等も併せて行いました。

支援世帯実績：95 世帯 254 名

区分	世帯
生活困窮	57
障がい	16
ひとり親	25
多子※	11
その他	19
計	128

・区分に関して世帯の重複あり

※ 18 歳以下の子が 3 名以上いる世帯

事業	世帯	世帯人数	支援回数
自立相談支援事業	54	116	224
就労準備支援事業	12	25	307
障がい者相談支援事業	2	8	4
福祉サービス利用援助事業	4	8	20
小学生の朝食支援	9	9	20
計	81	166	575

・事業に関して世帯（世帯人数）の重複あり

※小学生の朝食支援（世帯人数）は世帯人数ではなく、朝食支援を受けた児童数

事業	世帯	世帯人数	支援日数
学習・生活支援事業	13	58	94
こどもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業	10	55	237
計	23	113	331

8. たすけあい献血推進事業

うきは市が実施する年頭献血の日程や会場等を本会広報誌に掲載し、市民の皆さまへ広報啓発を行いました。

9. 移送サービス支援事業（市補助事業）

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、移送サービスの支援を実施しました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。送迎用の車輛は、4 人乗り軽自動車、軽車イス対応車から選択することができます。軽車イス対応車については、車イスに乗ったままの移送が可能です。（利用無料、活動協力費を社協助成 / 助成額 309,500 円）

- ・協力会員：8名
- ・利用会員：20名
(高齢者20名、身体障がい者0名、視覚障がい者0名、知的障害者0名、難病・虚弱0名)

内容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数		11	13	13	14	11	12	13	13	16	13	14	13	156
内 訳	独居高齢者	8	8	8	10	8	9	9	9	11	8	10	9	107
	高齢者世帯	3	5	5	4	3	3	4	4	5	5	4	4	49
	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	視覚障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	難病・虚弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
移送件数		16	23	21	21	17	17	20	19	21	20	19	18	232
内 容	通院送迎	16	23	21	20	17	16	19	19	20	20	18	17	226
	その他	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	6
利用時間（時間）		42	64.5	56	54	46.5	52.5	51	50.5	53.5	54	47.5	47	619
走行距離（k m）		314	534	482	472	396	449	441	453	459	420	398	373	5,191

《相談支援係》

1. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

生活困窮者自立支援事業では、働きたくても働けない、住むところがない等といった様々な相談をお受けし、一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援者が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、課題の解決に向けた支援を行いました。

この事業は、これまでの高齢者や障がい者といったカテゴリーごとの福祉制度と違い、失業者、多重債務者、ニート、ひきこもりなど、様々な方への支援や、複合的な課題を抱え、これまで制度の狭間に置かれてきた方々への支援を行う事業となっています。本会でも市の委託を受けて、自立相談支援事業（個別支援計画策定）、就労準備支援事業、家計改善支援事業、子どもの学習・生活支援事業を実施しました。

(1) 自立相談支援事業

生活困窮問題についての相談をお受けして、解決策を検討しました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談所開設日数	21	21	21	23	20	21	22	18	20	19	19	22	247
相談対応者数	48	39	36	49	32	35	34	47	42	37	34	47	480
うち保護受給者数	2	4	5	5	4	5	4	6	4	2	3	7	51
相談対応総数（訪問含）	81	67	58	87	63	66	48	88	84	91	83	91	907
新規相談者数	1	4	6	5	4	2	3	3	2	6	4	7	47

	内容
相談内容上位1位	生活困窮相談
相談内容上位2位	近況報告
相談内容上位3位	家族・家庭関係

①個別支援計画策定

生活困窮状態から脱却するために、本人の意思を尊重しながら自立支援に向けた計画を策定し、利用者はこのプランに基づいた就労準備支援や家計改善支援などを受けています。また、近年は物価高騰に伴う家計圧迫により生活が厳しい世帯に対しても必要に応じて計画を策定し、継続的な支援を行っています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規個別支援計画策定件数	3	1	1	0	2	0	0	2	1	1	1	0	12
うち保護受給者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
再プラン策定件数	4	0	4	6	3	2	12	1	2	3	2	2	41
終結件数	1	4	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	8
中断件数	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2	0	6
現実施計画累計数	38	34	35	32	34	33	32	34	35	36	35	34	

(2) 就労準備支援事業【内職シェアステーション Cocomonne（こここんね）開設状況】

就労準備支援事業として、うきは市総合福祉センター内に内職シェアステーション Cocomonne を設置し、就労に向けての訓練や他者とのコミュニケーションの訓練、社会参加を促すようなグループ活動などを実施しました。また、内職受注先の厚意により、袋詰めしたラーメン・そばを販売させていただき、今年度も各自治協議会から見舞品等としてご購入いただきました。

〔通所者工賃〕 令和7年4月～令和8年3月 一人平均 68,369 円

〔内職受注先〕

事業所名	所在地			作業内容									
株式会社 熊谷ゴム	久留米市田主丸			ゴム製品のバリ取り									
長尾製麺 株式会社	うきは市吉井町			ラーメンの袋詰め									
株式会社 ラバーテック	朝倉市杷木			ゴム製品のバリ取り									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	21	20	21	23	20	19	22	17	20	19	18	21	241
通所者数	9	10	11	13	12	10	10	10	10	10	11	10	126
うち保護受給者数	3	4	4	4	4	3	4	4	4	4	5	5	48
延べ人数	142	142	141	169	135	131	129	115	124	113	138	155	1,634
うち保護受給者延べ人数	49	58	59	61	44	64	52	45	63	63	76	71	705
1日平均利用者数	6.8	7.1	6.7	7.3	6.8	6.9	5.9	6.8	6.2	6.2	7.7	7.4	6.8
受注事業所件数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	

(3) 家計改善支援事業

家計改善支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計管理できるように、相談支援、関係機関へのつなぎ等を行い、生活再生を支援しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者数	3	3	2	5	2	2	1	1	3	1	3	2	28
相談件数	8	10	5	10	2	1	1	1	3	2	9	4	56
うち家計に係る相談件数	1	0	1	3	2	1	1	0	1	1	0	4	15
うち生保に繋いだ件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 子どもの学習・生活支援事業

生活困窮している世帯、ひとり親世帯等の中学生（登録 13 名）を対象とした学習・生活支援を、市内 2ヶ所で開催し、大学生ボランティア等の協力も得ながら、学習機会の確保と学習習慣の定着及び居場所支援を行いました。また、フードバンク福岡や市内の協力企業・団体のご協力により、中学生への食品等の提供も行いました。不登校や虐待（ネグレクト）や貧困課題を抱えた世帯に対しては、自宅訪問し、現状確認や相談対応を行いました。

本事業においては、近隣大学である久留米大学や市内中学校、行政機関と連携し、幅広いネットワークの中で柔軟に子どもたちの状況を把握し、多面的な支援体制の構築を実施しています。

【対応人数】

	吉井町域	浮羽町域	合計
実人数	8 名	5 名	13 名

※ 3 年生 5 名、2 年生 4 名、1 年生 4 名

【利用者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
吉井会場の開設日数	3	5	4	5	4	3	5	4	4	5	4	4	50
浮羽会場の開設日数	3	3	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	47
訪問支援日数	1	2	0	3	0	0	0	0	5	3	1	5	20
合 計	7	10	8	13	8	7	9	8	13	12	9	13	117
(吉井)利用者数	3	2	4	4	5	4	4	4	5	4	3	4	46
(浮羽)利用者数	2	2	2	3	5	4	3	4	4	4	4	4	41
(高校生)利用者数	3	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	8
合 計	8	4	6	7	15	8	7	8	9	8	7	8	95

【進路実績】

進 学 先
福岡県立高等学校 2名合格・進学
久留米市立高等学校 1名合格・進学
福岡県内私立高等学校 2名合格・進学
3年生5名全員が進学先決定

2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業（市受託事業））

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等のうち、判断能力が不十分な方が地域において自立した生活が送られるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行いました。今年度の実利用者は43名であり、地域での暮らしを支える事業として、尊厳のある本人らしい生活を継続するための大きな役割を果たしています。

【契約締結審査会の開催】

回 数	期 日	会 場	審査対象者数	出席者
第1回	R7.4.14	うきは市総合福祉センター	1名	委員7名
第2回	R7.9.16	うきは市総合福祉センター	1名	委員6名
第3回	R8.1.20	うきは市総合福祉センター	2名	委員7名

【相談経路】〔利用者（契約者・試行利用者）実人員43名〕

本 人	4	親 族	4	民生委員・児童委員	4
医療機関	5	特別支援学校	1	入所施設	1
介護支援専門員	3	障害者相談支援事業所	9	保健福祉環境事務所	1
うきは市役所	8	後見人	1		
家計改善支援事業	1	他市町村社会福祉協議会	1	合計	43

【契約者数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契 約 者 数													
高齢者	8	9	9	9	9	9	6	6	5	5	5	6	86
身体障がい者	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
知的障がい者	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	242
精神障がい者	5	5	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4	55
その他（上記に該当しない方）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
試行利用契約	0	0	0	1	1	1	0	0	2	2	1	2	10
合 計	37	38	37	38	38	38	35	35	36	36	36	37	441

【訪問・活動回数】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契 約 者 数													
高齢者	51	60	74	69	62	55	41	28	23	29	19	27	538
身体障がい者	3	5	3	9	2	5	3	2	2	3	3	4	44
知的障がい者	124	120	123	136	116	105	103	94	108	113	101	125	1,368
精神障がい者	48	51	41	41	31	46	36	33	39	37	36	30	469
その他（上記に該当しない方）	14	11	12	13	14	10	10	7	9	9	8	8	125
試行利用契約	0	0	0	1	7	10	0	0	25	0	6	13	62
合 計	240	247	253	269	232	231	193	164	206	191	173	207	2,606

【その他】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談	0	1	1	3	1	0	1	8	0	2	2	2	21
新規契約者	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	4
契約終了者	0	0	1	0	0	0	3	0	0	0	1	1	6

契約終了者については死亡・市外転出の他、市長申立にて後見移行となったケースもありました。また、本事業に結びつかないような相談でも、関係機関への連絡調整や各種手続きに関する支援を行いました。

契約事項	サービス内容
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払い代行等
日常的金銭管理	公共料金等の支払い代行、預貯金の出し入れ支援、生活費等の受け渡し等
書類等預かりサービス	日常的な金銭管理に利用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり
貸金庫保管サービス	社協が契約した金融機関の貸金庫を利用した定期通帳等の保管

【生活支援員の活動について】

地域住民の方の中から生活支援員を養成し、日常生活に必要な生活費等の受渡しのみならず、生活状況の確認や心配ごとの相談を受けるなど利用者に合わせた支援を行っています。生活支援員ならではの視点をもって利用者に関わることで、新たな発見や気づき、利用者と地域とのつながりを維持する働きがあります。

<福祉サービス利用援助事業>※生活支援員 3 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	6	5	6	5	7	3	3	3	2	0	1	2	43

<成年後見事業>※生活支援員 1 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	3	1	2	2	2	2	3	2	2	2	2	1	24

3. 成年後見事業

家庭裁判所より成年後見人等を受任し、家庭裁判所の監督のもと、被後見人等の財産管理及び身上監護を行いました。今年度は、被保佐人の行った消費者契約の取り消しを行い、被保佐人が不利益を被ることのないように支援を行いました。

(1) 法人後見審査会の開催

今年度の申し立ては案件はなく、法人後見審査会の開催はありませんでした。

※法人後見審査会の構成員…行政、医師、司法書士、民生委員等

(2) 法人後見受任状況

No.	性別	類型	症状	審判を受けた年	申立人	ご本人の居住	利用経緯等
1	女性	後見	知的障がい	H 28 年度	市長	在宅→施設	福祉事務所福祉係
2	女性	後見	知的障がい	H 29 年度	市長	在宅	福祉サービス利用援助事業利用者
3	男性	保佐	知的障がい	R 5 年度	市長	在宅	福祉サービス利用援助事業利用者

No.1 の方については、令和 7 年 8 月 30 日に、入院先の病院でお亡くなりになりました。被後見人には身寄りがいなかったため、本会が葬儀、埋葬までの段取りを行いました。また、相続財産清算人の申立を家庭裁判所に行い、相続財産の引継ぎを行いました。

4. うきは市障害者相談支援センター（市受託事業）

障害者相談支援事業では、障がい者（児）の様々な相談に応じています。相談内容は多岐にわたっており、福祉サービスの利用や医療・病状の理解に関する相談に加えて、負債や障害年金の手続き等の金銭面にまつわる相談件数が増加傾向にあります。

(1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障がい者（児）の様々な相談に応じると共に、障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害支援区分認定調査及び障害支援区分認定審査会へ参加しました。

【相談件数・相談内容】

相談方法		身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	関係機関	その他	合 計
	電 話	92	225	278	1,651	272	2,518
	来 所	21	133	65	268	53	540
	訪 問	123	295	196	103	22	739
	メール	0	4	89	6	18	117
合 計		236	657	628	2,028	365	3,914
相談内容内訳	①福祉サービスの利用	126	221	272	873	211	1,703
	②障がいや病状の理解	27	112	122	424	51	736
	③健康・医療	16	80	46	274	25	441
	④不安の解消・情緒安定	9	41	71	35	3	159
	⑤保育・教育	0	1	3	16	14	34
	⑥家族関係・人間関係	4	7	32	76	13	132
	⑦家計・経済	3	61	13	88	13	178
	⑧生活技術	17	53	18	114	25	227
	⑨就労	6	20	7	72	1	106
	⑩社会参加・余暇活動	2	9	10	17	1	39
	⑪権利擁護	0	0	0	0	0	0
	⑫その他	26	52	34	39	8	159
	合 計	236	657	628	2,028	365	3,914

※その他の相談内容 ・区分認定調査について ・近隣とのトラブルについて ・障害手帳について

【会議等】

障害支援区分認定調査件数	103 件
障害支援区分認定審査会参加	12 回
地域障害者協議会 全体会	1 回
地域障害者協議会 事務局会議参加	11 回
地域障害者協議会 児童部会参加	5 回
地域障害者協議会 就労支援部会参加	8 回
地域障害者協議会 計画相談部会参加	4 回
地域障害者協議会 地域生活支援拠点会議参加	1 回

(2) 障害者社会参加促進事業

うきは市総合福祉センターにおいて、障がい者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては、利用者の皆さんに登録を頂き、利用していただいています。

ここ数年、ほっとスペースうきはの延べ利用者数は増加傾向にあります（前年度比 26%増）。令和 7 年度はほっとスペースの交流会としてバスハイクや餅つき大会等を開催し、社会参加や利用者同士の交流につなげることができました。

【ほっとスペースうきは利用実績】

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数		11	11	11	13	16	11	12	21	13	19	15	14	167
内 訳	身体障がい者	1	1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	1	14
	知的障がい者	1	1	1	2	1	0	1	7	3	6	4	4	31
	精神障がい者	2	1	1	1	3	1	1	3	2	4	2	2	23
	障がい児	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	0	12
	その他（上記に該当しない方）	6	7	7	8	9	8	8	8	6	6	7	7	87
関係者・家族		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者延人数		148	147	143	170	143	143	144	139	143	137	147	167	1,771

内 訳	身体障がい者	14	11	14	11	12	14	14	14	13	14	12	12	155
	知的障がい者	6	2	1	5	1	0	1	7	16	22	19	17	97
	精神障がい者	15	14	16	12	16	14	15	15	17	20	15	16	185
	障がい児	8	6	4	8	5	6	5	7	2	3	1	0	55
	その他(上記に該当しない方)	105	114	108	134	109	109	109	96	95	78	100	122	1,279
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
新規登録者		11	1	0	2	4	0	6	2	2	2	2	0	32
内 訳	身体障がい者	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	知的障がい者	1	0	0	1	0	0	6	0	1	1	2	0	12
	精神障がい者	2	0	0	0	2	0	0	1	1	1	0	0	7
	障がい児	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	その他(上記に該当しない方)	6	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	9
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見学者数		0	1	63	1	26	9	16	0	4	0	13	0	133
内 訳	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	精神障がい者	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	4
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他(上記に該当しない方)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者・家族	0	0	62	0	26	9	16	0	2	0	12	0	127

【その他】

令和7年11月28日(金) ほっとスペース交流会：バスハイク 13名参加

(身：1名 知：6名 精：3名 他：3名)

令和8年1月8日(木) ほっとスペース交流会：餅つきと創作活動 15名参加

(身：2名 知：5名 精：3名 他：5名)

(3) 点字・声の広報等発行事業

市内の視覚障がい者の方へ、音訳ボランティア(声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会)の協力により、広報うきは、ふくしのかわら版、うきは市議会だより、赤い羽根だよりを定期的に、また必要に応じて身近な情報を音声データに録音し届けました。(利用者：3名)

また、市内の点字を利用している視覚障がい者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、身近な情報を点訳し届けました。(利用者：5名)

(4) 指定相談支援事業

障がい者(児)等からの相談に応じ、サービス事業所、施設、病院などの関係機関と連絡調整を行い、地域で安定した生活ができるような支援計画を作成しました。令和7年度は障がい児の計画作成数が増加しています(前年比50%)。利用者の心身の状況によって、サービス提供状況の確認や計画の変更等を行いました。加えて、面談や会議の実施、病院や関係機関との連絡調整又は情報提供を行うと共に、受診同行等の集中支援にも迅速に対応しています。

① 指定特定相談支援事業(市指定)：サービス等利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成数	4	0	4	6	4	4	6	8	5	4	10	9	64
モニタリング件数	12	7	9	9	5	8	8	3	10	10	11	7	99
集中支援加算数 (担当者会議、受診同行等)	4	2	2	3	1	3	6	3	3	8	4	3	42

② 障害児相談支援事業(市指定)：障がい児通所サービス利用計画の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成数	0	0	4	1	3	1	0	0	0	0	1	2	12
モニタリング件数	1	2	0	0	0	2	2	0	2	2	0	0	11
集中支援加算数 (担当者会議、受診同行等)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2

- ③指定一般相談支援事業（県指定／平成 25 年 10 月 1 日）：地域移行支援、地域定着支援の実施
・計画策定なし

5. 不登校・引きこもり対策相談支援事業（市受託事業）

不登校の子どもたちやひきこもり状況にある方、またその家族に対し、専門相談員が相談に応じると共に、本人の同意を得た上で訪問活動を行いました。必要時、関係機関と情報共有等を行いながら包括的な支援を展開するなど、当事者の希望に応じた支援を行いました。

また、相談・交流スペースをフリースペースとして開放すると共に、専用相談ダイヤルの設置やメールでの相談対応、家族会や市民向けセミナーを開催しました。

【支援実人員と相談・訪問支援件数】

	不登校	ひきこもり	合計
支援実人数	21	19	40
支援方法	不登校	ひきこもり	合計
相談支援（電話・メール・来所）／回	310	200	510
訪問支援（自宅訪問）／回	10	42	52
関係機関連携（会議、情報共有等）／回	349	38	387
合計	669	280	949

【支援状況】

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進路決定	4	就労開始・継続	0
登校開始・継続	12	就労準備支援利用	0
就労開始・継続	1	ひきこもり気味	8
他機関に移管	0	完全ひきこもり	2
完全不登校※	1	障害サービス利用	3
ひきこもりに移行	1	支援終結	5
転出	0	登校開始（通信制含む）・継続	1
支援終結	2		
合計	21	合計	19

【フリースペース利用状況・回数】

利用者	人数
不登校	2
ひきこもり	0

利用者	回数
不登校	123
ひきこもり	0
家族・関係機関	55

※「完全不登校」は明確な定義がなく、ここでは登校日数が年間 12 日（月 1 回）以下の生徒を表す。

■不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催

期日	会場	参加人数	内容
R8.3.10	るり色ふるさと館 2 階 研修室 4、5	36 名	子ども達を取り巻く「貧困」 ～今を生きる子ども達に出来ることは～

■サポート協議会の開催（市と共催）

不登校・引きこもり者本人の自立を促進し、本人及び家族等のサポートを目的として、市と共催でサポート協議会を開催しました。

今年度は本事業の活動報告と事例報告について紹介し、当事者・家族との関わり方や支援方法など情報共有と振り返り・検討を行いました。

期日	会場	参加人数	内容
R7.7.30	うきは市役所西別館	19 名	・令和 6 年度不登校・引きこもり対策相談支援事業報告 ・事例報告

【構成委員】

市内精神科医療機関関係者	北筑後保健福祉環境事務所関係者
民生委員児童委員協議会関係者	社会福祉協議会関係者
教育センター関係者	家庭児童相談員
小学校・中学校校長会関係者	福祉・医療・保健分野において専門資格を有する者
適応指導教室（キーノート）関係者	福祉、保健、教育等行政職員
その他、委員会において必要と認められた者	

■家族会「みつばちの会」の支援

家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で家族会を開催し、毎月第3水曜日の19時から定例会を開催しました。参加者は毎月9名程度で、コーディネーターに長阿彌幹夫氏（教育文化研究所代表）をお迎えし、家族の視点で不登校・ひきこもりについて考えました。今年度は延べ12回の開催、119名の参加がありました。

6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業（市受託事業）

うきは市子ども計画に基づき、経済的に困窮している世帯やひとり親世帯、生活保護の子ども達への学習機会の確保や生活習慣の定着を目的に、うきは市子ども・若者未来応援センター「こころん」を運営しました。

こころんでは、学習習慣の定着化を目指すとともに、家庭環境等に配慮した居場所活動、集団遊び等を行いました。また、生活支援の一環として、買い物体験、簡単な調理、衛生面に関する体験を行いました。

（1）拠点名称：うきは市子ども・若者未来応援センターこころん

（2）利用者実数

利用者	実人数
小学1年生	1名
小学2年生	3名
小学3年生	1名
小学4年生	4名
小学5年生	3名
小学6年生	4名
中学生	1名
保護者	16名
合 計	33名

（3）延べ開所日数・延べ参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	20	20	20	22	17	20	22	18	20	19	18	21	237
こころん延べ参加人数	150	147	170	147	118	155	166	128	132	142	118	142	1,715
訪問・初回面談数	0	0	3	4	5	4	2	5	4	6	6	6	45

（4）相談対応・連携件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
保護者	120	116	125	110	85	108	133	96	142	114	102	122	1,373
支援関係者	46	37	37	35	15	33	25	23	24	45	49	42	411

（5）支援関係者との連携

- ・支援関係者会議 2回出席
（令和7年6月3日（火）、令和8年3月12日（木））
- ・うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク事業 実務者会議 1回開催
（令和7年4月16日（水））

（6）フードバンク支援

複数の市内事業所により不定期で食品を提供いただき、子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業、生活困窮者自立支援事業における学習・生活支援等にも活用させていただきました。

また、NPO法人フードバンク福岡と連携し、長期保存可能な食料・清涼飲料水・お菓子などを不定期で提供いただいています。その他、うきうきフードバンク『うきたべる』にて集められた食料品や生活物品を提供いただくなど、市内外問わず幅広いフードバンクのネットワークと連携し、支援活動に活用しました。

7. 高齢者等住まい・生活支援事業（市受託事業）

（1）住まいと住まい方に関する相談

市の委託を受け、高齢者等の住み替えや住宅改修等の相談に応じました。住み替え相談から派生した様々な生活課題、介護保険サービスに関する相談や、自宅の老朽化等についても、関係機関と連携し対応しました。

【住まいと住まい方に関する相談実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内初回相談
電話相談	7	12	10	24	5	6	3	5	24	7	6	1	110	6
来所面談	18	15	19	9	14	23	22	12	25	19	11	18	205	6
訪問面談	0	1	2	0	0	1	0	0	1	1	1	0	7	0
文書での相談	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	3	0
合計	25	28	31	33	19	30	25	20	50	27	18	19	325	12

【住まいと住まい方に関する相談対応実績】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
関係機関との調整	3	0	3	4	0	0	1	0	7	4	0	0	22
住まいの斡旋・マッチング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援サービスの調整等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入居後居住支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	3	0	3	4	0	0	1	0	7	4	0	0	22

【住まいと住まい方に関する相談内容詳細】※1件の相談で2つの相談があれば2件でカウント

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住み替えに関する相談	3	0	1	5	0	0	1	0	6	0	1	0	17
転宅費用等に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
住宅改修に関する相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	19	28	27	24	19	30	23	20	37	23	17	19	286
合 計	22	28	28	29	19	30	24	20	43	23	18	19	303

※その他の相談内容

- ・移動販売について
- ・かわはらさんちの利用について
- ・介護サービスについて
- ・草取りについて
- ・日中活動について
- ・友達関係について
- ・携帯電話について
- ・敬老会について
- ・物の紛失について
- ・夫逝去後の暮らしについて
- ・気分の落ち込みについて
- ・障がい者サービスについて
- ・親子での外出について
- ・のるーとうきはについて
- ・物忘れについて
- ・体調について
- ・家族関係について
- ・食欲について

（2）つどいの場かわはらさんち

相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」を、高齢者等のふれあい交流の場として開放しました。

【かわはらさんち利用状況】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
75歳以上	53	49	49	37	38	74	83	52	56	58	58	75	682
65歳～74歳	1	9	6	5	4	3	8	4	4	3	9	8	64
15歳～64歳	8	3	17	6	3	5	8	9	3	2	7	19	90
15歳未満	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	3	13
合計	62	61	72	58	45	82	99	65	63	63	74	105	849

（3）認知症カフェの開設

「つどいの場かわはらさんち」を拠点に、うきは市地域包括支援センターの協力も得ながら、11月19日に認知症カフェを開催しました。（13名参加）

（4）居住支援協議会への参画

うきは市では住宅確保要配慮者（低所得者、被災者、高齢者、障がい者、子どもを養育する家庭その他住宅確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図ることを目的に、居住支援協議会（書面開催）を設置しており、相談事例の報告や対応の協議検討を行いました。

8. 資金貸付事業

低所得世帯及び経済的な困窮者に対して資金貸付制度の運用を行い、安定した生活が送れるように支援しました。資金の貸付にあたっては、民生委員の協力を得るとともに、貸付調査委員会の意見・答申のもと貸付を行いました。

【貸付調査委員会】

回 数	期 日	会 場
第 1 回	R7.5.7	うきは市総合福祉センター
第 2 回	R8.2.4	るり色ふるさと館

【初回相談件数】

相談内容	件 数
生活費等	14 件
教育費	5 件
その他（問い合わせ）	4 件
計	23 件

（1）生活福祉資金貸付事業（県社協より事務委託）

生活福祉資金貸付制度は、福岡県社会福祉協議会が事業主体となり、資金の種類ごとに貸付の要件、貸付限度額等それぞれの用途に応じた貸付を行っています。本会では、その窓口として申込みなどの受付及び相談支援を行っています。

【生活福祉資金貸付状況】

資金種類	令和 7 年度取り扱い件数	（新規件数）	（償還完了件数）
総合支援資金	3 件	（0 件）	（0 件）
福祉資金	7 件	（1 件）	（1 件）
緊急小口資金	8 件	（0 件）	（1 件）
教育支援資金	71 件	（1 件）	（1 件）
合 計	89 件	（2 件）	（3 件）

※取り扱い件数に、新規・償還完了件数含む

（2）援護資金貸付事業

本会独自の貸付制度で、うきは市に居住される方が一時的に生活費などに困窮された場合に貸付を行いました。

【援護資金貸付状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
令和 7 年度内貸付	0 円	0 件	85,000 円	3 件	60,000 円	25,000 円	1 件
合 計	0 円	0 件	85,000 円	3 件	60,000 円	25,000 円	1 件

（3）育英奨学資金貸付事業

本会独自の育英奨学金は、他制度の充実により現在借入申込みは休止しています。（償還実績のみ）

【育英奨学資金貸付状況】

区 分	年度当初償還残額	件数	年度内償還額	件数	年度末償還残額	件数
貸付完了分	172,800 円	1 件	115,200 円	1 件	57,600 円	1 件
合 計	172,800 円	1 件	115,200 円	1 件	57,600 円	1 件

（4）生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援業務（特例貸付債権管理事務）

生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援業務（県社協受託事業）

福岡県社会福祉協議会の委託事業として、令和 4 年 10 月より資金を借り受けられた世帯において引き続き生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援を実施しました。

【相談支援状況】

項目 / 月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付 ・ 対応件数	①来所	13	15	6	20	12	8	10	19	25	13	10	13	164
	②電話	23	13	11	10	2	0	1	2	10	6	10	5	93
	③メール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④訪問	2	0	1	0	0	0	2	0	1	0	3	0	9
	⑤その他	9	2	1	1	1	0	1	0	1	0	0	0	16
	合 計	47	30	19	31	15	8	14	21	37	19	23	18	282
相談後の 対応	①社協による支援対応	14	17	5	19	15	8	8	19	26	12	7	11	161
	②関係機関へつなぐ	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
	③経過観察	29	13	13	12	0	0	6	2	10	5	15	7	112
	④その他	2	0	1	0	0	0	0	0	0	2	1	0	6
相談内容 (複数選択)	①お金・負債	14	11	7	11	1	2	4	1	12	3	4	8	78
	②仕事	9	6	3	8	1	1	1	2	6	3	2	2	44
	③病気・体調	6	2	0	1	1	3	0	0	6	2	6	1	28
	④住まい	2	1	0	0	1	0	0	2	2	2	2	2	14
	⑤家族・孤立	10	1	6	1	0	1	2	0	2	0	3	1	27
	⑥その他(フードバンク等)	9	15	4	17	14	8	9	20	19	13	8	10	146

※相談状況については、特例貸付借受人以外の生活困窮者も含まれます。

Ⅲ 在宅福祉部門

在宅福祉部門では、介護保険法、障害者総合支援法に基づくサービスとして、居宅介護支援（ケアプランサービス）、訪問介護支援（ホームヘルプサービス）、障害者就労支援（ワークサポート白鳥の家）の事業を行っていますが、利用者に寄り添うサービス提供を心掛けました。

ケアプランサービスは、新規相談を積極的に受け入れ、受任上限件数ぎりぎりの状況を維持し、前年比 16.6%の増収となりました。

ホームヘルプサービスは、市内事業所の存続についてうきは市へ相談も行いましたが、市外から他事業所が参入し、利用者が事業所を選べる状況となりましたが、利用者から選んでいただけるように、研修等の充実を図り職員の資質向上に努め、前年比 6.3%の増収となりました。

ワークサポート白鳥の家は、障害者就労継続支援 B 型事業の定員を 30 名とし、これまで以上の利用者確保に努めました。利用者の増加に伴い、利用者への平均工賃支給額が下がらないように、生産活動の見直しを行い、積極的に施設外就労を取り入れるなど、利用者を取り組める仕事の内容を増やし、色々な作業に関われるような環境整備を行いました。

1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）

令和 7 年度の年間延べ利用者数は、前年度と比較して要介護者 142 名増、要支援者 3 名減となり、介護報酬は全体で 15.7%の収入増となりました。

職員は、利用者本人の思いや家族の意向に耳を傾け、事業所や医療機関等と密に連携を図りながら、より良い在宅生活を送ることができるように、利用者や家族の支援を行ってきました。

□営業日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）

□サービス提供時間：午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分（但し、24 時間連絡可能な体制を確保）

□職員体制：介護支援専門員 2 名

（1）居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

【居宅サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
作成件数	73	73	76	77	77	76	76	77	78	73	70	72	898	75

(2) 介護予防支援事業（浮羽地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

【介護予防サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
作成件数	12	12	11	9	9	10	10	11	10	12	11	11	128	10.7

2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）

訪問介護事業では、要介護状態の方へ居宅でのサービス提供を行っていますが、通所や短期入所等の施設サービス併用の方も多く、また季節によっては入退院となることもあるため、なかなか安定したサービス提供に至りませんでした。居宅で要介護になられてから施設入所までの期間も短くなってきています。

【令和7年度新規利用者】

・介護保険事業：要介護者8名、相当サービス利用者1名

・障害福祉サービス：居宅介護2名

□営業日：年中無休（但し、12／31・1／1を除く）

□営業時間：午前8時30分～午後5時15分

□サービス提供時間：午前7時～午後9時

□職員体制：ホームヘルパー8名（内、介護福祉士4名）※ R8.3.31 時点

(1) 介護保険事業

①訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

【訪問介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	15	17	18	18	16	17	17	18	17	17	14	13	197	16.4
利用回数	151	165	145	180	145	159	174	168	167	136	100	115	1,805	150.4

②相当サービス事業：相当サービス認定者へのヘルパー派遣

【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	32	33	30	30	29	29	29	27	27	27	27	27	347	28.9
利用回数	173	180	169	181	144	168	175	148	159	152	151	165	1,965	163.8

③緩和型サービス事業：訪問型サービスA認定者へのヘルパー派遣

【訪問型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
利用回数	5	4	4	5	3	4	5	3	4	4	4	4	49	4.1

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護：障がい者へのヘルパー派遣

【障害者居宅介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	17	16	17	18	17	16	16	15	15	16	16	17	196	16.3
利用回数	155	155	152	168	135	146	152	128	129	139	135	150	1,744	145.3

②同行援護：視覚障がい者のガイドヘルプ

【障害者同行援護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計	平均
利用者数	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	2	2	25	2.1
利用回数	17	17	16	17	15	14	16	17	15	16	13	17	190	15.8

(3) 受託事業

①移動支援事業（市受託事業）

障がい者の外出支援（ガイドヘルプ）

【障害者移動支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	0	1	1	1	0	1	2	0	1	2	1	1	11	0.9
利用回数	0	1	1	2	0	2	2	0	1	2	2	1	14	1.2

②受託居宅介護事業（グループホーム「オリーブ」受託事業）

今年度は利用実績なし

3. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）

今年度から定員増員（22名⇒30名）となり、職員体制等の整備を行いました。

就労定着支援事業では、利用者（5名）の就職先を訪問し、利用者の職場定着を図るため、本人に寄り添った支援を行い、職場との連携を図りながら課題解決に努めました。

□開所日 月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）

□開所時間 午前9時～午後4時

□職員体制 管理者1名、サービス管理責任者1名

生活支援員1名、職業指導員3名、目標工賃達成指導員1名（就労継続支援事業B型）

就労定着支援員1名（就労定着支援事業）

(1) 就労継続支援事業B型

□定 員：30名

□主な訓練・活動（作業）内容：

- ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
- ・就労の機会の提供及び生産活動
- ・生活相談

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業	訓練・作業内容
アルミ回収作業	ボランティアの方と一緒に回収、市民の方の提供品整理
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、クラフトかご作り、刺し子、毛糸の小物作り
スワンショップ	日用雑貨品の販売…(株)飛鳥産業、地域の方からの寄付物品を整理し販売
業者下請け作業	農産加工品袋・箱詰め（JAにじ農産加工センター）、袋詰め作業（Kimmy）、ドライフルーツ製造・袋詰め（池尻農園）、ミニトマトの計量・パック詰め（コープファーム）、ベッドマットレス解体作業（耳納クリーンステーション）
パンの家スワンベーカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、パンの販売、接客

□工賃実績：一人当たりの月額平均工賃 36,316円 ※県指定計算式による

（令和6年度工賃平均額 22,870円（県）、24,141円（国））

□主な訓練・活動（作業）内容

- ・就労に必要な知識、能力を向上させる訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
- ・生産活動（下請け作業）
- ・職場見学・職場実習・トライアル雇用の支援
（実習先、雇用先の開拓と訪問、公共交通機関を利用した通勤訓練）
- ・求職活動支援（ハローワークへの登録・求人検索）
- ・職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

(3) 就労定着支援事業

□定 員：15名

□主な支援内容：

- ・職場訪問による就労態度・職場状況の確認

- ・職場支援担当者と本人の意思疎通を図るための調整
- ・生活安定のための家庭訪問および助言
- ・本人および職場からの相談対応
- ・利用者間の交流を図るための取り組み（交流活動等）
- ・職場休業日の居場所支援（白鳥の家での受け入れ）

（４）ワークサポート白鳥の家事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
就労継続	利用者数	20	20	20	21	21	22	23	23	24	24	26	268	22.3
	利用回数	366	358	373	392	320	380	408	378	422	381	366	4,591	382.5
就労定着	利用者数	4	4	5	5	4	4	4	4	4	4	3	49	4.1
	利用回数	6	5	8	7	12	9	7	7	7	9	10	97	8.1

（５）給食の提供

おかず、汁物のみ提供。ご飯は各自必要な量を持参していただいています。

□利用者負担／１食 300 円

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	18	18	18	18	18	18	19	19	20	20	19	20	225
提供数	318	319	325	361	287	326	351	286	325	239	311	342	3,790

（６）ワークサポート白鳥の家の主な行事

期 日	内 容	期 日	内 容
R7.4.28	タケノコ掘り（國武庵）	R7.11.1～2	朝倉市金川地区文化祭自主製品、雑貨販売
R7.5.8	社会福祉法人プロジェクト委員会 景観美化活動 うきは駅清掃活動	R7.11.14	健康診断
		R7.11.22	山春地区福祉大会自主製品、雑貨販売
R7.5.17	プロ野球観戦（ヤフオクドーム）	R7.11.28	あいの会食事会（お弁当提供）
R7.5.30	みずうみの会 （廃油石鹸・ごきぶり団子作り）	R7.12.7	うきは市人権フェスティバル出店
		R7.12.19	収支報告会
R7.6.6	あいの会食事会（お弁当提供）	R7.12.23	餅つき（國武庵）
R7.6.14	道の駅「まごころ販売」	R7.12.25	交流会実施
R7.6.23	健康診断	R8.1.5	仕事始め、三社参り、お楽しみ会
R7.6.27	収支報告会	R8.1.21	社会福祉法人プロジェクト委員会 施設交流会（エバーガーデンでの交流）
R7.8.22	避難訓練		
R7.9.13	ゆめマートうきは「まごころ販売」	R8.2.15	卒業生のつどい
R7.10.8	赤い羽根共同募金街頭募金	R8.3.10	避難訓練
R7.10.11	道の駅うきは「まごころ販売」	R8.3.13	みずうみの会による給食作り
R7.10.16	御幸地区、大石地区福祉大会自主製品・ 雑貨販売 休日ショッブ	R8.3.16	日帰り旅行

（７）関係機関との連携・連絡調整

* 障害者就業・生活支援センターとの連携

利用者の就職希望等については、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」や「ちくぜん」と連携し相談に応じました。また、就労定着支援事業終了者については、分担して継続的に支援を行いました。

* 地域障害者協議会就労支援部会等への参加

地域障害者協議会就労支援部会では、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、職員の資質向上や事業所の支援向上に努めました。

・就労支援部会の開催状況

期 日	内 容
R7.4.9	今年度の活動内容について
R7.5.21	まごころ製品販売会（6月）打ち合わせ

R7.8.6	まごころ製品販売打ち合わせ、障がい者虐待についての検討、就労選択支援について
R7.9.17	まごころ製品販売会（10月）打ち合わせ
R7.12.17	令和8年度まごころ製品販売会打ち合わせ、就労選択支援が始まってからの課題、今年度のまとめと来年度の内容について

4. 制度補足サービス

介護保険制度など法定事業の範囲では対応できないサービスについて、利用者や家族、介護支援専門員等の要望に応じ、社協独自のサービス提供を行います。

（1）暮らし安心サービス（うきは市ヘルパーステーション）

利用者や家族、介護支援専門員等の要望を受けて、介護保険並びに障害福祉サービス事業でのヘルパーでは対象とならない生活援助サービス（小修理、資源ごみ出し、洗濯代行、害虫駆除剤散布等）を提供し、在宅生活の継続支援を行いました。

【利用実績】 ※実利用者数 14 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用者数	5	3	3	3	2	6	7	3	5	4	5	3	49	4.1
利用回数	12	3	7	3	2	7	7	5	10	16	11	8	91	7.6

5. 連携・協働事業

うきはブロック介護サービス事業連絡会

うきはブロック介護サービス事業連絡会では、合同で各種法定研修や福祉レクリエーション研修、先進施設視察研修などを実施した他、朝倉介護保険事業者協議会との情報交換や研修の相互参加を行いました。また、在宅医療介護連携センター事業（介護事業部会）、浮羽医師会からの講演会等の情報提供を一斉メール配信にて実施しました。

IV その他

1. 実習・見学受入状況等

（1）視察受入（総務企画課、地域福祉課）

期 日	団体・組織	人数	内容
R7.6.12	熊本県大津町民生委員児童委員協議会	19 名	「不登校・引きこもり対策相談支援事業について」
R7.6.26	長崎県長与町自治会長会	16 名	「うきは市の生活支援体制整備事業について」
R7.9.29	長崎県壱岐市民生委員児童委員連合会	7 名	「令和5年7月豪雨におけるうきは市災害ボランティアセンターの取り組みと地域の見守り活動について」
R7.10.2	長崎県長与町コミュニティ地区連絡協議会	12 名	「うきは市の生活支援体制整備事業について」
R8.1.20	古賀市社会福祉協議会	3 名	「うきは市の生活支援体制整備事業について」
R8.2.5	朝倉市松末コミュニティ協議会区長会	16 名	「うきは市の生活支援体制整備事業について」
R8.2.10	鹿児島県曾於市	6 名	「災害ボランティアセンターについて」

（2）社会福祉士相談援助実習

団体・組織	人数
西南学院大学	1
計 1 団体 1 名	

（3）訪問介護事業（うきは市ヘルパーステーション）

※今年度はヘルパー実習受入はありませんでした。

(4) 視察・見学受け入れ（ワークサポート白鳥の家）

①視察・見学受入

期 日	団体・組織	人 数
R7.9.16	福祉実習生	1 名
R7.10.16	三潞町女性部	12 名
R7.10.21	久留米市北野町	23 名
R7.10.30	久留米市東国分	20 名
合 計	4 件	56 名

②実習受け入れ

期 日	団体名	人 数
R7.10.27～11.7	小郡特別支援学校高等部 1 年生（就労継続支援 B 型）	1 名
合 計	1 件	1 名

2. 講演・事例報告等への職員派遣（地域福祉課）

期日	研修・会議等名称	派遣職員
R7.7.8	福岡県生活支援コーディネーター初任者研修 パネラー	地域福祉課 中川
R7.8.1	第 29 回福岡県生活支援コーディネーター連絡会 講師	地域福祉課 中川
R7.9.20	ちくしの福祉村公開講座 講師	地域福祉課 高橋
R7.10.10	福岡県生活支援体制整備事業アドバイザー派遣事業アドバイザー（派遣地：古賀市）	地域福祉課 中川
R7.10.24	福岡県ひきこもり支援者等地域ネットワーク会議 報告者	地域福祉課 高橋

V 令和 7 年度 寄付者名簿

1. 香典返し寄付

(敬称略)

香典返し寄付金 合計 258 件 6,053,000 円

2. 一般寄付

一般寄付金 合計 69 件 計 1,285,398 円

3. 物品寄付

物品寄付 合計 6 件 1,929,005 円

令和 7 年度 事業報告 附属明細書

社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

令和 7 年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、定款第 40 条第 2 号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。

以上